

補助金	100,000	本年度庄補助高
計	33,750	

科目	金額	摘要
團服補助	5,500	一人宛二・一〇 二五人分
脚絆補助	6,250	一人宛〇・二五 二五人分
旅行補助	6,000	一人宛二圓三十人分
共同作業地開墾	3,000	
青年讀本青年必携	8,000	各四十部代
豫備費	7,970	

六 施設事業

- 一、既設事業 (昭和五年度中)
- イ 修養 郡主催青年團幹部講習會ニ副團長並ニ分團長出席、巡迴圖書利用、講習會、見學旅行、月例會(各分團ニ於ケル毎月十五日)總會
 - ロ 奉仕 道路修繕、納稅宣傳、驛前ノ掃除、兒童募集、式日ニ參列
 - ハ 娛樂社交 ビンボン會、庭球會、音樂會

- ニ 其他各種行事 體育會、茶話會、遠足
- 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
- イ 修養 團幹部講習會、巡迴圖書ノ利用、月例會、總會、運動會、青年カード購讀、新聞雜誌購讀
- ロ 奉仕 道路修繕、納稅宣傳、驛前掃除、團員募集、兒童募集
- ハ 娛樂社交 ビンボン會、庭球會、見學旅行
- ニ 其他 新入團員入團式及茶話會

二 沿革

- 一名 稱 王功青年團
- 所在地 北斗郡沙山庄王功
- 團長 訓導 三二歳 王由九
- 副團長 訓導 二五歳 王蓮中
- 1 設立年月日 昭和六年六月二十七日
 - 2 沿革大要 昭和六年六月二十七日王功分教場ニ於テ松尾郡守始メ地方官紳多數臨席ノ下ニ結團式ヲ舉ゲ昭和六年九月二十七日郡聯合青年團ニ加盟同大會ニ全員出席
- 昭和六年十一月二日臺中州青年團大會ニ代

三 設置區域

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班數
第一分團	保甲書記 葉濟川 二二	1
第二分團	組合書記 洪萬澤 二三	1
第三分團	商業 林榮 二四	1
第四分團	商業 林本源 二五	1

表團員五名出席
昭和六年十一月一日ヨリ向フ四ヶ月間夜間長期開講習會開設現在繼續中

四

王功分教場ノ通學區域ヲ以テ本團ノ區域トス

組織及編成

- 一、組織 本團ヲ四分團ニ分チ團員二十八名ヲ以テ組織ス
- 二、編成及連員 (總團員數三一名)

農	工	商	其他	特別團員職業別調
2	1	1	1	五 學校職員 三
6	5	4	2	

五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 庄費補助、有志ノ寄附、團員有志ノ寄附等ヲ以テ維持ス
- 三、昭和六年度豫算

科目	金額	摘要
庄補助金	100,000	庄ヨリノ補助金

科目	金額	摘要
結團費	2,000	團服及團帽附屬品
服裝費	3,000	團服及團帽附屬品
結團費	6,000	記念撮影及記念宴會

科目	金額	摘要
有志寄附金	2,000	庄民有志ヨリノ寄附
團員有志寄附金	1,000	團員父兄ヨリノ寄附
計	3,000	

備品費	六五〇	圖書、令書奉安箱、雜印
消耗品費	九〇〇	電燈料及取付料其ノ他
講習會費	四〇〇	講習中十一月及十二月分ノ雜費
大會費	一五〇〇	臺中州大會五名出席ノ費用
雜費	四〇〇	通信及懇親用
總計	二〇九〇	
繰越	二五〇	昭和七年ニ繰越ス

六 施設事業

- 一、既設事業（昭和五年度中）
- イ 修養
 - ロ 奉仕
 - ハ 娛樂社交
 - ニ 其他各種行事
- 未設立ニ付該當スルモノナシ
- 二、本年度實施シタル事項又ハ實施ニ決定セル事項
- イ 修養
 - 國語使用勵行
 - 常識補養講演會
 - 月例會及幹事會
 - 長期間講習會（四ヶ月繼續）

- ロ 奉仕
 - 納稅宣傳
 - 校庭整理
 - 竝木保護、防風林手入
 - 乳兒愛護宣傳
- ハ 娛樂社交
 - 體育會
 - 各種大會（體育方面）ニ參加
 - 慶弔實行
 - 唱歌會
- ニ 其他 ナシ

一名稱 路上層青年團

- 所在地 沙山庄路上層
- 團長 訓導 三二歳 趙 火炎
- 副團長 學校小使 二二歳 謝 四配
- 二 沿革
- 一、設立年月日 昭和六年十一月十一日
 - 二、設立動機 國家ノ棟梁タルヘキ地方青年ノ將來ヲ顧慮シ且時勢ノ進運ヨリ考察シテ公學校教育修了者ノ品性並體力ノ向上及學力ノ補充ヲ計ル事必要ナレバ臺中州訓令ノ御趣旨ニ從ヒ

分團名稱	分團長職業氏名年齡	班數	分團所屬員數	團員職業			特別團員職業別調
				農	工	商	
一	一	一	一	一	一	一	訓導

- 學校職員及地方有志等相計リテ之ヲ設立シタルナリ
- 三、昭和六年十一月十一日結團式ト同時ニ地方ノ有志ヨリ金四十二圓ノ寄附金アリタリ
 - 四、昭和六年十二月九日沙山庄役場ヨリ補助金五十圓ヲ領受シタリ

- 三 設置區域 沙山公學校路上層分教場通學區域内トス
- 四 組織及編成
 - 一、組織
 - 當青年團設置區域内ニ居住セル滿二十五歳以下ノ初等教育者又ハ之ニ準ズベキ者ヲ以テ組織ス
 - 二、編成及團員數（團員數二二名）

五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 庄役場補助金並ニ地方有志ノ寄附金ニ依リ
- 三、昭和六年度豫算

科目	金額	摘要
補助金	五〇〇	
寄附金	四二〇	
計	九二〇	

歳出

科目	金額	摘要
發團式費	二六四	宴會費並團員ノ晝食代
印刷費	二〇〇	團長之印並發第 號
通信費	〇二〇	切手
消耗品費	四九〇	文書收發名簿、會計簿、紙類
計	三三三	

五 施設事業

一、既設事業 (昭和五年度中) ナシ

二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項

- 1 實施シタル事項
 - イ 結團式舉行 (昭和六年十一月十一日)
 - ロ 令旨奉讀式 (十一月二十二日)
 - ハ 沙山庄聯合體育會參加 (十一月二十五日)
 - ニ 實施セムトスル事項
 - イ 學藝會參加 (二月六日)
 - ロ 新入生募集勸誘 (二月下旬、三月上旬)
 - ハ 庭球、ピンポン會、遠足會
 - ニ 短期間夜學講習會
 - ホ 音樂隊組織
 - ヘ 路上厝二林間植木植付
 - ト 共同貯金
 - チ 書籍雜誌類購讀

一名稱 溪州青年團

所在地 北斗郡溪州庄溪州
 團長 教員 四〇歳 岩下袈裝次郎
 副團長 農業者 二四歳 廖萬禾

二沿革

一、設立年月日 昭和二年十二月二十七日

一、沿革大要

昭和二年十二月二十七日 溪州庄社會教化研究會ニ於テ世相ノ進展ニ鑑ミ將來庄ノ中堅タルベキ青年ノ修養並ニ思想善導ノ必要アルヲ感シ故庄長葉惠清氏以下有力者ノ援助ニ依リ茲ニ結團式ヲ舉行ス

昭和四年十月十七日 溪州公學校ニ於テ總會ヲ開キ團員編成改革ト共ニ規約中一部改正ニ伴ヒ海洋厝派出所管内ニ副團長一名ヲ設置提議ニ賛成互選ノ結果廖萬禾君當選シタリ

昭和六年九月二十六日 溪州公學校ニ於テ總會ヲ開キ副團長陳文照ノ辭任ト劉西江團長ノ辭任ヲ一同異議ナク承認シ後任岩下校長ヲ推ス

三、設置區域

一、組織

一 正團員 溪州公學校進學區域内ニ居住スル年齢滿二十五歳以下ニシテ公學校卒業生タルモノ

二 特別團員 溪州庄社會教化研究會ノ推舉ニ依リ本團幹部會ノ承認ヲ經タルモノ

三 顧問

小學校長、水利組合長、庄長、郵傳局長、農團長、製糖會社係長、巡查部長及其他德望高キモノ

二、編成及團員 (總團員數六九名)

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班數	分團所屬員數	團員職業			特別團員職業別調
				農	工	商	
第一(溪 境 厝)	鄭再連 二四	一	二	一			教育者 一〇
第二(溪厝新庄子)	陳群鄉 二五	一	二	一			農 一
第三(溪 州)	黃順安 二二	一	二	一			農 一
第四(舊 厝)	劉勝元 二四	一	二	一			農 一
第五(海 洋 厝)	廖六八 二六	二	七	一			
第六(三條洲水尾)	廖清添 二四	一	七	一			
				七	七	七	二

四 經費

- 一、資產 ナシ
- 二、維持 庄ノ補助及有志ノ自發的寄附ヲ以テス
- 三、昭和六年度豫算

科 目	金額	備 考
繰越金	10,000	
補助金	100,000	
補計	110,000	庄ヨリ補助

科目	金額	摘要
團員制服補助	五〇〇	團員制服調製一名ニツキ
講習會費	二〇〇	幹部講習會、指導講習會等ノ會費
體育會費	一五〇	體育會一同
事務費	一〇〇	消耗品、通信費
書籍費	二〇〇	臺灣教育會加入、其ノ他ノ書籍費
雜費	五六〇	
計	一、一六〇	

五 施設事業

- 一、既設事業
 - 一 修 養 早起會
 - 二 奉 仕 新入學生募集應援、冬防警戒、時ノ記念宣傳、聯合運動會、警戒並ニ觀覽者ノ自轉車預リ取扱
 - 三 娛樂社交 祝祭日舉式參加
 - 四 其ノ他 ナシ

- 一、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 - 一 修 養 巡迴文庫閱覽、團員指導講習會、一夜講習會、月例會、總會
 - 二 奉 仕 就學兒童獎勵、改修道路、路標建立トメトル法宣傳其ノ他風俗改良衛生思想勸諭貯蓄浪費節省等ノ宣傳
 - 三 娛樂社交 郡庄主催聯合體育會出場參加及郡聯合青年團結團式ニ參加
 - 四 其ノ他 團ノ活動振起策講究

一名稱 下郡青年團

所在地 北斗郡溪州庄下郡
 團長 公學校教員 三七歳 大場有文
 副團長 信用組合事務 二七歳 陳丁福
 同 庄役場吏員 二六歳 鄭金波

二沿革

- 一、設置年月日 昭和五年十月十日
- 二、沿革ノ大要 昭和五年九月二十二日ヨリ同年十月九日ニ至ル十八日間青年團ノ準備教育講習會ヲ開催シ、同年十月十日結團式ヲ舉行ス

三 設置區域 下郡公學校就學區域

昭和六年九月二十七日北斗郡聯合青年團結團式ニ參加

四 組織及編成

當青年團設置區域内ニ居住セル滿二十五歳以下ノ初等教

二、編成及團員 (總團員數五七名)

育以上ノ修了者ヲ正團員トス正團員ニシテ滿二十五歳ヲ超エ退團シタルモノニシテ役員會ノ決議ニヨリ滿三十歳マテヲ特別團員ニナスコトヲ得
 役員ハ團長一名副團長二名顧問三名理事二名幹事五名各分團ニ分團長班長ヲ置ク

分團名稱	分團長職業氏名年齡	班數	分團所屬員數			特別團員職業調
			農	工	商	
下水埔	農 鄭生財 二二	二	六	九	六	教員 三
上寮	農 鄭水和 二二	三	四	一	九	
下霸	農 鄭樹根 二二	二	四	一	九	
過溪	保甲書記 鄭火成 二四	一	六	九	六	
西畔	農 詹自然 二五	一	九	六	六	

五 經費

- 一、資產 ナシ
- 二、維持 庄ヨリ補助ヲ受ク
- 三、昭和六年度豫算 歳入

科目	金額	摘要
補助金	一〇〇〇	庄補助金
計	一〇〇〇	

歳出

科目	金額	摘要
樂隊費	二五〇〇	
圖書費	一〇〇〇	
講習會費	一〇〇〇	
野營生活費	二〇〇〇	
體育會費	二〇〇〇	
敬老會費	二〇〇〇	
雜費	五〇〇	
計	一〇〇〇〇	運搬費、印刷費等

六 施設事業

- 一、既設事業（昭和五年度中）
 - イ 修養 青年團準備教育講習會十八日、野營生活一回
 - 一夜講習會二回
 - ロ 奉仕 納稅宣傳、兒童募集
 - ハ 娛樂社交 懇親茶話會、二水青年團實習作業見學（分團長四名）
- 二 本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項

一六八

一、實施シタル事項

- イ 圖書購讀
 - ロ 樂隊組織（但シ小規模ナルモノ）
 - ハ 講習會十日間（卒業生指導講習會ヲ兼ネテ）
 - ニ 野營生活 一回
 - ホ 體育會（結團式一周年記念ノタメ公學校兒童並ニ國語夜學會員參加ノ上）
 - ヘ 一夜講習會 五回
 - ト 談話練習會一回（各分團ヨリ一名ツ、選出即題ニ依ル）
 - チ 國防獻金
 - 二、實行ニ決定セル事項
 - イ 敬老會 舊正月一日
 - ロ 學藝會 舊正月一日
 - ハ 談話練習會（毎月一回）
 - ニ 毎夜事務所ニテ圖書ノ購讀
 - ホ 甘蔗園ノ借入（約二分昭和七年度ヨリ）
- 一名稱 南投郡聯合青年團
所在地 南投郡役所内
團長 南投郡守 松本平次郎

二 沿革

副團長 鹿務課長 山口一 郎
同 警察課長 中島弘光

昭和五年十二月十四日ノ設立ニシテ郡下男子青年團十團體女子青年團二團體ヲ以テ發團式ヲ舉行セリ而シテ郡下青年團ノ聯合統一ニ努メ其進歩發達ヲ計ルヲ以テ目的トセリ

- 三 加盟團體數 一四
- 四 加盟團員數 一、二二四
- 五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 州補助金及加盟青年團員擔金
- 六 昭和五年度豫算

科目	金額	摘要
頁擔金	七六〇〇	
計	七六〇〇	

歳出

七 施設事業

科目	金額	摘要
結團式費用	七六〇〇	
計	七六〇〇	

結團式舉行及音樂會開催

一名稱 南投青年團

所在地 南投郡南投街南投
團長 南投公學校訓導 三〇歳 張錫喜
副團長 南投街役場書記 二九歳 筒坤顯

二 沿革

- 一、設立年月日 昭和五年十一月二十二日
- 二 沿革ノ大要

昭和五年十一月二十二日結團式ヲ舉行シ組織ヲ決定ス
昭和六年一月十一日ステイン袴團服ヲ制定ス
昭和六年二月十九日青綠色團旗ヲ制定ス

三 設置區域

南投外七字ニシテ南投公學校就學區域ニ同ジ

一六九

四 組織及編成

一、組織 二十歳以下ノ初等教育修了者ヲ正團員トシ學校職員街役場吏員及二十歳ヲ超エタルモノニシテ

幹部トナルベキモノヲ特別團員トス
現在三分團ニ分チ更ニ二十一班ニ分ツ
二、編成及團員 (總團員一〇九名)

分團名稱	分團長職業氏名年齡	班數	分團所屬團員數				特別團員
			農	工	商	其他	
第一分團	講師 張錫綸 二九	五	〇	一	一	一	教員 一八
第二分團	訓導 吳振福 二八	三	三	一	一	四	公吏員 二
第三分團	農業 蕭啓東 二七	三	三	一	一	二	農業 一五 寫真業 一
計		二	六	三	三	七	七四 二六

五 經費

一、資產 ナシ
二、維持 團員ノ勤勞收入及ビ街ノ補助金ニ依ル
三、昭和六年度豫算 歲入

科目	金額	摘要
雜收入	八〇〇〇	團員ノ勤勞ニ依ル
補助金	三〇〇〇	南投街役場ヨリ補助金
計	一、一〇〇〇	

歲出

科目	金額	摘要
講習講演費	四〇〇〇	
體育費	二〇〇〇	
圖書費	三〇〇〇	
印刷費	一〇〇〇	
會議費	一〇〇〇	
獎勵費	五〇〇〇	總會費用 團服及國民教本青年カ ド補助

六 施設事業

一、既設事業 (昭和五年度)
イ 修養 週例会、講習會(一週間繼續二回)
青年文庫設置街立圖書館利用
月旦、早起會、國旗掲揚、國語使用
ロ 奉仕 入學兒童獎勵、國語普及(練習講師トナルモノ四名)
ハ 娛樂社交 陸上競技會參加(郡體育會主催)一回
遠足會一回 音樂會參加(郡主催)
ニ 其他 團旗及團服ノ制定
三、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
イ 修養 週例会、講習會(二ヶ月繼續一回、一週間繼續一回、青年カード國民教本ノ購讀、神社參拜
ロ 奉仕 埤圳浚渫作業一回 敬老會
納稅及時ノ記念日宣傳
ハ 娛樂及社交 集々大山登山野營一回、野球試合

奉仕費	豫備費	計
二〇〇〇	一〇〇〇	三〇〇〇
〇	一〇〇〇	一〇〇〇
〇	〇	〇

敬老會一〇圓道路修繕一〇圓

活動寫真會開催一回

二 其他
賀陽宮殿下奉迎 (六月十五日於臺中)
州主催第一回青年團陸上競技大會參加 (七月十三日)
州主催第一回青年團大會參加 (十一月一日)

一名稱 南投女子青年團

所在地 南投街包尾七五八番地
團長 三九歳 山の端 憲一
副團長 二七歳 張石氏 水杵

二沿革

昭和四年十一月二十日設立協議會開催(設立委員會三度開催)
昭和五年二月十日設立總會開催シ、守則十項、團則二十一ヶ條ヲ議シ、團長、副團長選舉、役員依囑、當時團員總數四五名
昭和五年二月十一日南投神社前ニ於テ宣誓式ヲ舉行シ、引續キ南投女子公學校ニテ結團式ヲ舉行
爾後講習會開催スルコト六回修養會等團則ニ示セル事業ニ精進セリ

三 設置區域 南投女子公學校通學區域一團
四 組織及編成

一、組織

本團ハ南投女子公學校學區域内ニ現住スル女子ニシテ初等教育ヲ修了シタルモノ又ハ之レニ準スベキモノヲ以テ組織ス

分團名	分團長職業者氏名年齢	班數	分團所屬員數	團員職業	特別團員職業調
第一分團	學校給仕 魏氏煥 一八	一	一六	農 一	
第二分團	街役場雇 游氏香 二二	一	二一	農 一	家事 四
南部分團	街役場雇 江氏金冠 一七	一	二五	農 一	家事 三
西部分團	明治製糖雇 詹氏萬 一九	一	一四	農 一	

- 一、正團員ハ二十五歳以下ノ未婚ノ女子
二、特別團員ハ既婚者及二十五歳以上ノ女子ニシテ本團ノ趣旨ニ賛同セルモノ
三、贊助團員ハ學徳高ク本團ノ趣旨ニ賛同シ本團ニ功勞アリタルモノ
四、編成及團員 (總團員數六五名)

五 經費

- 一、資產 ナシ
二、維持 街補助金及バザール收益、有志ノ寄附
三、昭和六年度豫算 歳入

科目	金額	摘要
街ヨリ補助金	八〇〇〇	
雑收入	一〇〇〇	バザール開催シ其ノ利益ヲ之レニ充ツ
計	九〇〇〇	

歳出

科目	金額	摘要
講習講演會	三〇〇〇	
圖書費	一〇〇〇	
印刷費	一〇〇〇	
修學旅行	二〇〇〇	
奉仕費	五〇〇	
豫備費	一〇〇〇	聯合青年團費 其他献金
計	九〇〇〇	

六 施設事業

一、既設事業 (昭和五年度中)

- 1 修養
講習會 (長期二回、短期一回)
相互修養會 (毎月第一第三土曜、月例會)
圖書巡迴閱覽 (南投圖書館ト連絡ヲトツテ)
修學旅行
奉仕
學校行事援助、敬老會、兒童募集、南投社掃除
娛樂社交、體育競技會、遠足

二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項

- 1 講習會
イ 長期講習會 二回
ロ 洗濯講習會 一回
ハ 洋服裁縫講習會 一回
ニ 長期講習會 一回 二月初旬ヨリ
ホ 料理講習會 一回 同
2 相互修養會 毎月第一、三、土曜、月例會(勵行中) 二月上旬
3 敬老會 二月上旬
4 修學旅行 二月下旬
5 修養書印刷 目下勵行中

一 名稱 南投郡書朗青年團

所在地

團長 農業 三四歳 李振智
副團長 農業 二七歳 許其津

二 沿革 初等教育修了者ノ品性向上學力補充ヲ圖ルヲ目的トシテ地方有志及學校職員等相計リテ昭和二年八月十六日之ヲ設立シタルモノナリ

三 設立區域 營盤公學校通學區域内(營盤口、内橋)ヲ以テ設

立區域トス

四 組織及編成

一、組織 本團設置區域内ニ居住スル滿二十五歳以下ノ初

二、編成及團員 (總團員數七七名)

等教育修了者又ハ之ニ準ズベキ青年ヲ以テ組織ス

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班數	分團所屬員數			特別團員職業別調
			農	工	商	
營盤口	郡雇 許木堂 二六	三	三	一	二	一農 八 其他一
内 轄	保甲書記 廖進寶 二二	四	三	一	五	計 九
計(二ヶ分團)		七	六	二	七	

五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 本年度ヨリ左ノ方法ニ依ル
 - 1 圳路修繕ニヨル收入金ノ積立
 - 2 果樹園經營ニヨル收益金ノ積立
 - 3 音樂隊使用ニ對スル謝禮金ノ積立
 - 4 其他事業遂行スル爲ノ補助金、寄附金ノ積立
- 三、昭和六年度豫算

科 目	金額	摘 要
繰越金	二六五〇	

歳 出

科 目	金額	摘 要
補助金	五〇〇〇	南投街補助金
雑収入	三六〇〇	圳路修繕ニヨル收入
計	二〇一五〇	

科 目	金額	摘 要
備品費	二〇〇〇	青年文庫圖書及其他ノ備品購入費用トス
會議費	一三〇〇	總會其他諸會合ノ費用トス
講習費	二〇〇〇	郡幹部講習會費トス

科 目	金額	摘 要
視察費	三六〇〇	東勢農業國民學校、大茅埔青年團視察トス
郡州聯合青年團大會參加費	一〇〇〇	郡聯合青年團大會參加費トス
記念メタル補助費	一五〇〇	
果樹園經營費	八五〇〇	膜耕料、苗木、肥料ナドノ代トス
消耗品費	三〇〇〇	消耗品購入、諸印刷ノ費用トス
通信運搬費	四〇〇〇	切手、葉書代及運搬費用トス
豫備費	五五〇〇	
計	二〇一五〇	

六 施設事業

一、既設事業 (昭和五年度中)

イ 修養

- 1 青年文庫圖書閱覽
- 2 月例會 (毎月一回)
 - 奉仕
 - 1 納稅宣傳、活動寫眞、體育會、競技會ナドニ音樂隊出演
 - 2 道路、廟ノ美化作業

ハ 娛樂社交

- 1 民衆音樂會
- 2 體育會(學校ト合併)
- 2 其他各種行事
- 1 令旨奉讀式舉行
- 2 學事視察
- 3 總會、役員會
- 4 郡聯合青年團發團式ニ出席

二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項

- イ 總會
 - 月例會 (營盤口分團 毎月舊曆ノ十三日夜七時ヨリ 内轄分團 毎月舊曆ノ十六日夜七時ヨリ)
 - 奉仕作業 (道路廟ノ美化作業)
- ニ 體育會 (學校壯丁團ト聯合)
- ホ 令旨奉讀式 (十一月二十二日夜七時)
- ヘ 學事視察 (臺中地方)
- ト 母校卒業生指導講習會ニ出席
- チ 郡州青年團大會ニ出席
- リ 郡青年團幹部講習會ニ出席

又 圳路修繕

一名 稱 重昭青年團

所在地 草屯庄草屯
 團長 調導 二八歳 陳萬盛
 副團長 運轉手 二〇歳 鄭明漢

二沿革

昭和四年十月二十七日結團ス 團長 李秋庚氏

昭和六年四月三十日第三回總會ヲ開催シ役員ノ改選ヲナス
 昭和六年五月臺灣教育會へ入會 登録番號 一一一
 三 設置區域 草屯公學校通學區域
 四 組織及編成
 1 組織 團長一 副團長一 班長五 團員二六
 2 編成及團員(總員數三四名)

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班所屬 員數	農業	工業	商業	其他	特別團員職業別
白樹	枝一九	八					教員
李金	土一八	八					
簡彬	務一九	六					
羅裕	祥二〇	四					
林計	松一七	七					
計		三三					

五經費

- 1 資産 ナシ
- 2 維持 役場ヨリノ補助金ト團員ノ勤勞ニ依ル收入ヲ以テ一切ノ費用ヲ支辨ス
- 3 昭和六年度豫算

科 目	金額	摘要
補助金	二五〇〇〇	庄役場補助
雑收入	八五〇〇〇	團員共同勞動ニ依ル

寄附金	金額	摘要
計	三三〇〇〇	顧問寄附

科 目	金額	摘要
圖書費	九〇〇〇	青年カード雜誌
備品費	六〇〇〇	團旗團服ノ一部
旅費	一〇〇〇〇	州郡聯合青年團大會出席
消耗費	六〇〇〇	通信其ノ他
雜計	四〇〇〇〇	奉仕作業ニ於ケル食費其ノ他
計	三三〇〇〇	

六 施設事業

- 1 施設事業
 - イ 修養
 - 青年カードニ依リ智的修養ヲナス
 - 講習會ヲ開キ學科ノ復習ヲナシ又智的修養ヲナス
 - 一夜講習會ニテハ主トシテ精神修養ヲナシ又娛樂ヲモナス
 - ロ 令旨奉讀式舉行

- ハ 奉仕
 - 體育會ノ手傳、郡及庄ノ聯合體育會ノ手傳、道路樹ヲ植ス
 - 娛樂及社交
 - 遠足
 - 水 其他
- 青年團幹部講習會

- 2 本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 - イ 修養
 - 週例會 (讀書、坐談、研究、打合、聽話、娛樂)
 - 特別集會 (總會、役員會、記念事業野營大會出席)
 - 一部集會 (早起會 第一次十一月十五日ヨリ十二月三十一日マテ、第二次一月十五日ヨリ三月十五日マテ 夜警 樂隊練習)
 - 月例會(毎月第一土曜日午後三時ヨリ體育會又ハ教練)
 - 青年團幹部講習會
 - ロ 令旨奉讀式舉行
 - ハ 儀式參加
 - ニ 奉仕
 - 公園及グラウンド整理(三回六日間三月、六月、十月)

體育會手傳 (郡主催職員體育會、庄主催聯合體育會) 設備後片附役員トシテ)

道路改修 (十一月二十二日記念事業トシテ母校校門ヨリノ道路ニバラスチ敷置ス縣道路ノ改修チナス)

母校手傳 (兒童募集ノ援助部落學藝會ノ設備)

國語普及夜學會ニ盡力

煙木補植

夜警

湯茶ノ設置 (夏季ノミ)

路標設置セントス

消防

宣傳

東三省出征軍慰問金贈出

同 遺族ヘノ慰問金贈出

3 娛樂及社交

4 週會所 (本庄ノ圖書館長渥美氏ヨリ無償テ借受ケ青年團員ノミニ夜ノ圖書ノ閱覽特典アリ)

口 勞作所 (面積三分土角造ノ建物三室李明欽氏ヨリ無償テ借受ケ園藝方面樂隊練習所トス)

ハ 音樂隊 (白青松氏ヨリ無償テ借受ケ)

二 庭球、野球、籠球

水 觀月會 (舊八月十五日)

ハ 旅行 (日月潭務社ヘ一月二日ヨリ一月四日マデ) キャンプ生活 (同安寮ヘ八月二十二日、二十三日) 登山 (火炎山八月二十八日)

4 其他

1 團旗調製

口 團服制定

ハ 職業指導 (カマス製造實行セントス)

ニ 苗木、花等ノ栽培

一 名稱 草屯女子青年團

所在地 草屯庄草屯

團長 草屯公學校教員心得 柳箬ちよ

副團長 無 職 白氏錫郷

二 沿革

昭和四年十月二十七日結團

昭和六年四月二十九日總會ヲ開キ役員變更

三 設置區域

草屯公學校通學區域

四 組織及編成

一、組織

團長一名 副團長一名 幹事 團員

二、編成及團員 (總團員二五名)

分團名稱	分團長職業氏名年齢	團所數	團員職業			特別團員職業別
			農	工	商	
李 氏 翠	邱 氏 金花	三	一			
白 氏 錫郷	李 氏 輝香	二				
李 氏 折好	李 氏 好折	二				
簡 氏 好折	連 氏 好折	三				
陳 氏 好折	陳 氏 好折	二				

五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 庄役場ヨリ補助ヲ得テ維持ス 必要ニ應ジテハ團員ヨリ團費ヲ徵集ス
- 三、昭和六年豫算 歳 入

科 目	金額	備 考
補助金	一平〇〇	庄役場ヨリ
雑收入	九六八	團員共同作業ニヨル
寄附金	一四〇〇	顧問寄附
計	三六六八	

歲出

科目	金額	摘要
圖書費	三三〇	雜誌代
旅費	三〇〇	州聯合青年大會出席
雜費	一〇九八	團員修養、娛樂費
計	三六九八	

六 施設事業

一、既設事業

イ 修養

- 1 白ゆり會ヲ起シ修養機關トス(月一回)
 - 2 講習會ヲ開キ裁縫家事手藝等ヲ行フ
 - 3 向陽、白ゆり、向上の婦人等ノ讀書
 - 4 令旨奉讀式舉行
- 口 奉仕
- 1 學校運動會、敬老會、研究會等凡テノ會合ノ時ハ出席手傳ヲナス
- ハ 娛樂社交
- 1 遠足ヲナス、遊戲ヲナス

二 其ノ他

二、本年度實施セル事項又ハ實行ニ決定セル事項

イ 修養

- 1 白ゆり會ノ集ヲナス(月一回)
 - 2 講習會ヲ開キ裁縫、家事、手藝ヲ行フ
 - 3 向陽、白ゆり、向上の婦人讀書
 - 4 令旨奉讀式舉行
 - 5 祝賀式參列
- 口 奉仕
- 1 學校運動會、敬老會、研究會等凡テノ會合ノ時ハ出席手傳ヲナス
 - 2 郡研究會ノ研究物贈寫、紙折、製本等ノ手傳ヲナス
 - 3 東三省出征軍慰問金婦人團募集ニ應ジ各部落ノ月別訪問ヲナシ募集ニ努力ス
 - 4 同出征軍遺族ヘ慰問金贈出
 - 5 臺灣聯合青年團主催國防儲金ニ應ジ寄附ヲナス
- ハ 娛樂社交
- 1 前項ニ同ジ
 - 二 其ノ他
 - 1 郡青年團國語演習會ニ出席一等賞ヲ受ク

2 臺中州聯合青年大會ニ四名出席ス

以上

名稱 碧峯青年團

南投郡草屯庄北投埔

團長 公學校訓導 二六歲 林枝重

副團長 同 二七歲 林一信

二 沿革

本校通學區域內月眉屠字溪州二大正十二年十月二十八日創

三 設置區域 碧峯公學校通學區域ヲ以テス

四 組織及編成

- 一、組織
 - 本團設置區域內ニ居住スル碧峯公學校卒業生ニシテ、滿二十歳以下ノ男子ヲ以テ組織ス
- 二、編成及團員 (總團員數七三名)

分團名稱	分團長職業氏名年齡	班數	分團所屬員數	團員職業			特別團員職業別調
				農	工	商	
第一分團	農業 林耀東 一八	—	二〇	—	—	—	公學校職員 五
第二分團	同 林金田 一七	—	二七	—	—	—	庄役場書記 五
第三分團	同 蔡省三 二〇	—	二七	—	—	—	信用組合書記 五
第四分團	同 林捷鏡 一八	—	二六	—	—	—	農業 一
第五分團	同 簡清淇 一九	—	二二	—	—	—	其他 一
第六分團	同 林坤輝 一七	—	二二	—	—	—	其他 一

五 經費

一、資產 九三八四〇圓

二、維持 資產及團員ノ勞役收入ニ依ル

三、昭和六年度豫算

歳入

科目	金額	摘要
庄補助金	一五、〇〇〇	
勞役收入	二〇、〇〇〇	庄運動場ノ整理ニ勞役ス
計	三五、〇〇〇	

歳出

科目	金額	摘要
總會費	一〇、〇〇〇	
州青年團體育會	二、八〇〇	
出場費	六、五〇〇	
郡聯合青年團出會費	四、九〇〇	
州青年團大會出會費	一、七〇〇	
團服購入補助費	六、〇〇〇	
國防費獻金贈出	六、九〇〇	
計	四九、〇〇〇	歳入ニテ不足ノ分ヲ資産ヨリ補充ス

六 施設事業

一、既設事業 (昭和五年度中)

イ 修養 月例会、修養講習會、巡回文庫閱覽會、令旨奉讀式

ロ 奉仕 區内道路修繕出仕、廟(四ヶ所)美化作業、道路標建設、納稅宣傳

ハ 娛樂社交 體育會、音樂會、懇談茶話會

ニ 其他 總會、幹部打合會、祝日儀式(母校)參列

二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項

1 補習講習會

2 共同作業

3 入學及ビ缺席兒童督勵

4 國旗掲揚日一覽表配布

5 分團集會所設置(分團讀書會、講習會、懇談會等)

一名 稱 新庄青年團

所在地 南投郡草屯庄新庄

團長 農業 一八歳 林坤池

副團長 商業 一八歳 洪河海

同 農業 一七歳 曹氏波

二 沿革 昭和六年五月二十七日結團ス

三 設置區域 新庄公學校通學區域

四 組織及編成

一、組織 新庄公學校通學區域内ニ居住スル滿二十歳以下ノ初等教育終了者又ハ之ニ準ズベキモノヲ以テ組織ス、但シ上級學校ニ在學中ノモノハ團員タ

ルコトヲ得ズ
團長一名 副團長二名 幹事六名 顧問三名
團員四六名
二、編成及團員 (總團員數四六名)

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班數	分團所屬員數	團員職業	特別團員職業別調
第一分團	商業 洪河海 一八	二	三	農 一 工 一 商 一 其他 一	學校職員 一〇
第二分團	農業 林坤池 一八	三	三	農 二 工 一 商 一 其他 一	官公吏 二

五 經費

一 資産 ナシ

二 維持 團員ノ勤勞ヨリ得タル收入ニヨル

三 昭和六年度豫算 ナシ

六 施設事業

一、既設事業 (昭和六年度中) ナシ

二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項

イ 修養 毎月例会ヨリ精神修養、朝日公民讀本ノ講讀
實科指導ヲ行ヒツトアリ

ロ 奉仕 國防費ニ獻金ヲナス

ハ 娛樂社交 月見會ヲ行フ

二 其他各種行事 庄聯合運動會、州、郡青年團聯合大會
ニ 參加ス 以上

一名 稱 土城青年團

所在地 草屯庄南埔一〇〇番地ノ一

團長 農業 三二歳 洪周南

副團長 教員 二五歳 李百顯

二 沿革

大正十一年十月三十日設立

昭和五年十二月十四日南投郡聯合青年團ニ加盟

昭和六年十月七日團服制定

昭和六年十一月一日州下青年團大會參加
 昭和七年一月十七日頂炭分團青年文庫建設
 設置區域
 土城公學校通學區域即チ北勢浦、頂炭、南埔、土城、坪頂、
 雙冬ノ六字トス
 組織及編成

一 組織
 正團員 土城公學校通學區域内ニ居住スル滿二十五歲以
 下ノ初等教育修了者
 特別團員 學校職員及二十五歲以上ノ功勞者
 二、編成及團員（總團員數九三名）

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班數	分團所屬員數			特別團員職業別調
			農	工	商-其他	
北勢浦分團	李庚熙 二六	五	三			農業二
頂炭分團	李柔 二二	三	三			其他八
南埔分團	李枝泉 二一	二	二			
土城分團	江秀 二二	七	四			
坪頂分團	李木川 二四	四	四			
雙冬分團	李其視 二〇	三	九			
商業		一				

五 經費
 一、資産 基本金七十二圓十四錢也
 二、維持 共同勞作及庄ヨリノ補助ニヨル
 三、昭和六年度豫算
 歳入

科目	金額	摘要
基本金	七十二圓	基本金ノ利子
財産收入	三三	庄役場補助金
補助金	一五〇〇	

歳出	金額	摘要
雑収入	五〇〇	團員ノ共同勞作ニヨル利益金
計	一五六一	

科目	金額	摘要
事務費	一〇〇	事務費計一圓
講習費	六〇〇	幹部講習會旅費一人ニ付一圓ノ六人分計六圓
視察費	三〇〇	農事視察費一人ニ付二圓ノ六人分計一二圓
會議費	七〇〇	總會一回ニ付二圓ノ三分計六圓 幹事會一回ニ付三圓ノ六人分計一八圓
聯合大會費	一〇〇〇	聯合大會旅費一人ニ付三圓ノ三人分計九圓
獎勵費	七五〇〇	制服購入補助一人ニ付一圓三錢ノ三人分計七五圓
通信運搬費	二〇〇	通信運搬費計二圓
計	一三〇〇	

六 施設事業
 一、既設事業（昭和五年度中）
 イ 修養 勞力補習講習會
 ロ 奉仕 道路修繕

ハ 娛樂社交 ナシ
 ニ 其他各種行事 共同勞作（埤圳浚渫工事請負）
 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 イ 修養 勞力補習講習會、農事視察、副業研究
 ロ 奉仕 道路竝木植樹
 ハ 娛樂社交 唱歌練習
 ニ 其他各種行事 組織ノ改善、青年文庫新設、團服制定 共同勞作（校地埋立請負）

一 名稱 土城女子青年團
 所在地 草屯庄南埔一〇〇番地ノ一
 團長 學校長 三六歲 平野鹿之助
 副團長 教員 一九歲 白石和子

二 沿革
 昭和四年十月二十八日設立

三 設置區域
 土城公學校通學區域即チ北勢浦、頂炭、南埔、土城、坪頂、
 雙冬ノ六字トス

四 組織及編成一、組織

正團員 初等教育修了者ニシテ滿二十五歳以下ノ女子
特別團員 右ノ他本團ノ目的達成ニ盡力セル者
二、編成及團員 (總團員數十名)
分團制ヲ實施セズ

團員職業別		特別團員職業別
農	工	農
商	其他	農業
其他		一 教員
		二 農業

五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 會員ノ負擔ニヨル
- 三、昭和六年度豫算

科目	金額	摘要
講習會費	七〇〇	會費一人ニ付一圓ノ七人分
計	七〇〇	

歳出

講習會費	金額	摘要
計	七〇〇	家事手藝講習會材料代

六 施設事業

- 一、既設事業 (昭和五年度中)
 - イ 修養 手藝講習會
 - ロ 奉仕 ナシ
 - ハ 娛樂社交 ナシ
 - ニ 其他各種行事 ナシ
 - 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 - イ 修養 家事手藝講習會
 - ロ 奉仕 女兒就學勸誘
 - ハ 娛樂社交 唱歌練習
 - ニ 其他各種行事 ナシ
- 一名 稱 中寮青年團
所在地 南投郡中寮庄鄉親家三九〇番地
團長 役場書記 二四歳 張 伯
副團長 信用組合書記 二八歳 江 金 章

- 二 沿革 設立大正十一年十二月二十六日 二三歳 廖 大 經
- 三 設置區域 中寮公學校校下
- 四 組織及編成

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班數	分團所屬團員	團員職業別	特別團員職業別
中寮	張和池 二二	一	一六	農 一	農 一
東勢	廖清沂 二三	一	一五	農 一	農 一
鄉親	廖秋華 二五	一	一三	農 一	農 一
八杞	廖大態 三〇	一	一五	農 一	農 一
馬安	蔡大榮 二三	一	一四	農 一	農 一
劍鹿	張汝三 二九	一	一四	農 一	農 一
后坑	同	一	一四	農 一	農 一
炭子	防過所書記 廖大性 二三	一	一六	農 一	農 一
計	組合書記 廖大徑 二三	八	一六六	農 一六	農 一六

中寮公學校卒業生ニシテ滿二十五歳以下ノ者ヲ以テ組織ス但滿二十五歳以上ノ退團者ニシテ幹事會ノ決議ニヨリ推薦セラレタルモノヲ特別團員トス

二、編成及團員 (總團員數八三名)

五 經費

- 一、資産 山林二甲二八九〇 組合預金四五・六二圓
- 二、維持 預金利子、役場補助金、團員ノ勞力收入

三、昭和五年度豫算

歳入

科目	金額	摘要
財產收入	一六八	
繰越金	五四五	
計	五一三	

科目	金額	摘要
講習會費	一〇〇〇	
總會費	二〇〇	
印刷費	二〇〇	
計	一、九〇〇	

六 施設事業

- 一、既設事業（昭和五年度中）
 - 一 修養 講習會、總會、令旨奉讀式
 - 二 奉仕 就學獎勵
 - 三 娛樂社交 月例會
 - 四 其他各種行事 總會、幹事會

- 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 - 一 實施シタル事項
 - 總會、月例會、幹事會、納稅宣傳、令旨奉讀式、道路修繕、樂隊練習
 - 二 實行ニ決定セル事項
 - 團旗購入、促進會設置
- 三、昭和六年度豫算

科目	金額	摘要
財產收入	〇九〇	基本財產利子
補助金	二〇〇〇	庄役場
繰越金(基本財産)	三六六	
計	五五六	

科目	金額	摘要
講習會費	二〇〇	
總會費	一〇〇	
印刷費	二〇〇	

項目	金額
印刷費	五〇〇
郡青年團大會出費	三〇〇
體育會費	一〇〇〇
紀念綬費	二八〇
計	五、六〇〇

一 名稱 龍眼林青年團

所在地 龍眼林公學校
 團長 中察庄囑託 三〇歳 李 應 森
 副團長 製 膠 業 二七歳 林 火 添

二 沿革

- 一、設立年月日 昭和二年六月十二日
- 二、沿革大要

設立動機 團則

分團名稱	分團長 職業 氏名 年 齡	班 數	分團所屬 團員數	農 工 商 其他	特別團員職業別調
龍眼林分團	農業 張錫田 二〇	1	25	1	農業 2名
爽文路分團	教員 羅文田 二三	1	25	1	官吏 9名
分水寮分團	農業 廖語一 一九	1	25	1	

時代進運ニ伴ヒ善良ナル國民ヲ養成スル公學校ノ教育ノミニテハ不足ノ感アリ況ヤ當地方ノ如ク文化ノ程度低ク刺激少キ故ニ公學校卒業生ノ心アルモノ竝ニ一般有志ハ如何ニカシテコノ救濟ヲナサンモノヲト感シ居タリ偶ニ大正十五年八月二十六日臺中州報ニ青年團准則出ヅルヤ喜ンテコレニ准ジ團則ヲ編成シテ團ヲ組織シタリ

- 一、組織ノ變更
 - 元中察庄青年團ノ分團ナリシヲ大正十四年三月二十三日龍眼林公學校第一回卒業式舉行後新ニ龍眼林青年團ト改メ發會式ヲ舉ゲタリ
- 二、設置區域
- 三、龍眼林公學校通學區域内
- 四、組織及編成
 - 一、組織
 - 二、本團區域内ニ居住スル滿三十歳以下ノ初等教育修了者ヲ以テ組織ス
 - 三、編成及團員(總團員數九六名)

五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 營林所三井會社ノ除草チナス基本金ヲツクル豫定ノミ營林所三井會社ニ目下交渉中
- 三、昭和六年度豫算

科 目	金額	摘 要
庄補助金	三〇〇〇	庄役場補助金
計	三〇〇〇	

歳 入

歳 出

科 目	金額	摘 要
郡主催青年團幹部講習會出席旅費	六〇〇	講習會費一人付二圓二人分四圓講習會費一人付一圓二人分二圓計六圓
郡聯合青年團大會費指導講習會費	二〇〇〇	大會中食代五圓講習會費九圓計一四圓
計	二六〇〇	

六 施設事業

一、既設事業

- 自昭和六年十一月八日三ヶ月間國語科、米法、公民科至昭和七年二月八日三ヶ月間音樂講習會ヲ開催ス衛生科ノ指導講習會ヲ開催ス講師ハ龍眼林公學校職員、學校醫、マラリヤ防過事務所員等
- 修 養 月次修養會ヲ開キ毎月六日召集シ學校長ノ講話チナス
- 奉 仕 龍眼林公學校ノ校庭整理チナス
- 娛樂社交
 - 自昭和六年十一月八日三ヶ月間音樂講習會ヲ開催ス至昭和七年二月八日

- 其他各種行事 ナシ
- 本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 - 青年團服購入ノ件(目下購入中)

一 名稱 名同青年團

所在地	南投郡名間庄名間
團 長	教育者 四〇歳 橋詰昇司
副團長	同 三八歳 吳東明
同	公吏 三一歳 陳廷文

二 沿革

四 組織及編成

- 組織
 - 名間公學校及新街分教場通學區域内ニ住居スル滿二十五歳以下ノ初等教育修了者又ハ之ニ準ズベキ者ヲ以テ組織ス但シ現ニ上級學校ニ在學中ノ者ハ團員タルコトヲ得ズ
- 編成及團員 (總團員數二二六名)

三 設置區域 名間公學校及新街分教場通學區域内

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班數	分團所屬團員	農	工	商	其他	特別團員職業別數
名間分團	商業 吳木蘭 二七	五	六	三	二	一	一	學校職員 二
濁水分團	助役 吳張田 三二	三	三	三	一	一	一	役場吏員 四
番子寮分團	農業 陳朝德 二三	三	三	三	一	一	一	農業 四
新街分團	吏員 陳連科 二三	二	二	二	一	一	一	其他 二
計		三	三	三	二	二	二	計 一四

五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 團員ノ勞働ニヨル收得金庄役場ノ補助金ニ依ル
- 三、昭和六年度

科 目	金額	摘 要
補助金	二〇〇〇	庄費補助
雜收	六二〇	
計 入	二六二〇	勞働ニ依ル收得金

科目	金額	摘要
事務費	六〇〇	
講習費	四〇〇	
體育費	二〇〇	
娛樂費	六〇〇	
圖書費	一〇〇〇	
印刷費	六〇〇	
通信費	三〇〇	
會議費	二〇〇	
奉仕費	五〇〇	
雜計	一五〇〇	
	三三〇〇	

六 施設事業

- 一、既設事業 (昭和五年度)
 - 1 部落單位月例會、讀書中心相互修養會開催(毎月)
 - 2 青年團總會開催 (五月十八日一〇五名出席)
- 4 修養

- 3 半日講習會開催 (十一月一日午後二時ヨリ同十時迄) (出席者四八名)
- 4 巡回文庫及巡回雜誌ノ擴張(新刊青年修養圖書及「青年」青年カード「大成」「大道」「青年必携」等ノ講讀臺灣總督府巡回書庫第六〇號開覽)
- 5 青年團紀念日ノ行事 (十一月二十二日)
 - A 令旨奉讀式舉行
 - B 聯合相互修養會開催 (二〇名出席)
- 7 南投郡聯合青年團ニ加盟 (十二月十四日代表者二十五名出席)
- 8 郡主催青年團幹部講習會ニ出席 (二月七、八、九日出席者三名)
- 9 卒業生指導講習會開催
 - A 第一回 昭和六年一月十六日ヨリ向フ一週間於新街分教場
 - B 第二回 昭和六年二月二十三日ヨリ向フ一週間於名間公學校
- 10 奉仕作業
 - 1 納稅宣傳
 - 2 冬防警戒

ハ 娛樂、體育、社交

- 1 新高郡集々大山へ登山 (六月一日參加者三六名)
- 2 日月潭へ見學遠足 (八月十日團員十六名船ヲ湖上ニ泛ヘテ一日ノ清遊ヲ擅ニシタ南投山本將先生著「日月潭」ノ惠贈ニ與リ各團員見學ノ活資料ヲ得タリ)
- 3 名間公學校運動會ニ參加 (十月九日)
- 4 霧社兇蕃討伐隊ノ送迎 (十二月中)
- 5 南投郡主催音樂會へ出演 (十二月十四日)
- 6 南投郡主催陸上競技大會ニ參加 (昭和六年二月一日)

日名間團トシテ加入優勝カップヲ受ク)

- 7 新街分教場運動會ニ參加 (舊曆正月元旦)
 - 1 幹事會開催 (六回)
 - 2 祝祭日ニ於ケル學校ノ儀式ニ各班ヨリ一名ノ代表者參加
- 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 - 1 修養
 - 1 部落單位月例會、讀書中心相互修養會開催

分團別	部別	場所	指導者	期日
名間分團	第一部	信用組合	吳東文	舊曆每月三日
濁水分團	第二部	濁水學校	吳東文	舊曆每月三日
番子寮分團	第三部	番子寮	張廷運	舊曆每月三日
新街分團	第四部	新街	張廷運	舊曆每月三日

備考 希望社發行ノ「大道」ヲ使用

- 2 青年團總會開催 (六月七日參加者八〇名)
- 3 庄聯合短期修養講習會出席 (參加者五四名)

- 4 巡回青年文庫ノ擴張
- 5 半日講習會開催 (七年一月十六日參加者七〇名)
- 6 郡主催青年團幹部講習會參加 (七年一月二十二日出席)

- 席者三名)
- 7 青年團紀念日ノ行事 (十二月二十二日)
 - A 令旨奉讀式舉行
 - B 聯合相互修養會開催
 - 8 卒業生指導講習會開催 (一月十八日ヨリ五日間)
 - 奉仕作業
 - 1 納稅宣傳 (宣傳票配布)
 - 2 共同作業
 - A 皮子寮公學校新校地々均シ (五月七日ヨリ十六日間參加者六〇名)
 - B 同源川修繕工事請負 (十二月十二日ヨリ五日間參加者二九名)
 - ハ 娛樂、體育、社交
 - 1 嘉義へ見學旅行 (七月二十八日參加者二十八名)
 - 2 鹿谷へ遠足 (七年一月二日參加者七名)
 - 3 名間公學校運動會ニ參加 (十月十七日)
 - 4 南投郡主催音樂會ニ出演 (十月八日參加者二五名)
 - 5 郡主催、陸上競技會ニ參加 (優勝カップヲ受ク)
 - 6 庄主催、陸上競技會ニ參加 (優勝カップヲ受ク)

- 7 新街分教場運動會ニ參加 (舊曆正月元旦)
 - 2 其他
 - 1 幹事會開催 (四回) 以上
- 一名稱 頂新厝青年團
- 所在地 南投郡名間庄頂新厝
- 團長 教員 三四歲 陳招烈
- 副團長 農業 二六歲 謝連貴
- 二 沿革 昭和五年十月十九日頂新厝公學校ニ於テ結團式ヲ舉行セリ
 - 三 設置區域 頂新厝公學校通學區域内(二重埔、下新厝、頂新厝、坎子脚、埔中央、過坑、大車路、松柏坑、三條崙)
 - 四 組織及編成
 - 一、組織 頂新厝公學校卒業生並ニ其他ノ初等教育以上ノ學校ヲ卒業シタルモノニシテ本校通學區域内ニ在住スル年齡滿二十五歳ノ男子ノ中幹事會ニ於テ適當ト認メタル者ヲ以テ組織ス
 - 二、編成及團員 (總團員數一〇二名)

分團名稱	分團長職業氏名年齡	班數	分團所屬員數	團員職業	特別團員職業別調
二重埔	陳大分 二〇	一	九	農	
下新厝	謝新旺 二三	一	七	農	
頂新厝第一	陳深江 二四	一	六	農	教員
頂新厝第二	陳金木 二四	一	六	農	教員
坎子脚	陳明泉 二一	二	三	農	
炭寮	蔡金榮 一九	一	七	農	
埔過	蕭長發 二五	一	八	農	
松柏坑	李有來 二四	二	二〇	農	
大車路	陳長向 二四	一	九	農	

五 經費

- 一、資產 ナシ
- 二、維持 團員ノ共同勤勞ニ依ル收入、並ニ補助金寄附金ヲ以テ之ヲ維持ス
- 三、昭和六年度豫算

科	目	金額	摘要
歳入	補助金	二〇,〇〇〇	役場ヨリ
	繰越金	六,五〇〇	
	雜收入	六,〇〇〇	團員ノ勤勞ニ依ル收入 (皮子寮公學校、校地、地均作業)
歳出	寄附金	八,六五〇	
	計		

會 議 費	1,500.00	總會3,000其他ノ會2,000
雜 費	3,000.00	天長節儀式祝賀菓子代 2,000 其他1,000
備 費	4,200.00	臨時費ニ充ツ
印 刷 費	3,750.00	パンフレットノ印刷紙代
計	12,450.00	

六 施設事項

- 一、既設事業 (昭五年度)
- イ 修 養 分團會開催 印刷物配布
雑誌ノ閱讀(三種)
 - ロ 奉 仕 納税ノ宣傳(宣傳ビラノ配付)
 - ハ 娛 樂 音楽隊練習會、音楽會(學校學藝會ト合併)
遠足
 - ニ 其 他 共同團ノ經營、體育會(學校ト合併)令旨奉讀
式舉行、郡體育會ニ參加
 - 二、本年度ニ實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 - イ 修 養 短期講習會開催、印刷物ノ配付、分團會開催
雜誌ノ購讀、分團讀書會
 - ロ 奉 仕 納税宣傳

科 目	金 額	摘 要
庄 寄 附 金	500.00	集々庄三圓魚池庄三圓
州 補 助 金	500.00	青年團幹部講習會補助金
州 獎 勵 金	100.00	州ヨリノ獎勵金
計	1,100.00	

歲 出

科 目	金 額	摘 要
青年團幹部講習會費	800.00	會員食費三〇圓謝禮金一五圓寫眞一二圓其他諸雜費二三圓
發 團 式 費	100.00	
音 樂 會 費	500.00	
體 育 會 費	500.00	
事 務 費	200.00	
備 品 費	300.00	團長印三圓飯盒代二七圓
州國語演習會出演者補助	300.00	汽車、臺車、宿泊料補助

- ハ 娛 樂 音楽會(學校學藝會ト合併)
- ニ 其 他 令旨奉讀式、體育會、郡庄開催ノ體育會ニ參加

一 名 稱 新高郡聯合青年團

所在地 新高郡集々庄柴橋頭字吳厝

團 長 郡 守 五三歲 中島與一

副團長 庶務課長 三八歲 五藤 勇

同 警察課長 四四歲 小川繁治

二 沿革 新高郡内各青年團ノ聯絡統一ニ努メ其進歩發達ヲ計リ統制的機能ヲ發揮センガ爲メ昭和六年十月四日發團式ヲ舉行ス

三 加 盟 團 體 數 四

四 加 盟 團 員 數 二二七

五 經 費

- 一、資 產 ナシ
- 二、維 持 庄寄附金、州補助金及獎勵金ニヨリ維持ス
- 三、昭年六年度豫算

歲 入

州青年團大會出席者補助	300.00	食費二〇圓汽車、臺車費一六圓
豫 備 費	100.00	
計	400.00	

五 施設事項

- 一、既設事業 (昭和五年度中) ナシ
- 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
- 六月十四日 郡青年團陸上競技會開催
- 七月十四日 州青年團陸上競技會參加
- 八月二十九日 郡青年團幹部講習會開催
- 十月四日 郡聯合青年團發團式及音楽會開催
- 十一月一日 州青年團大會參加
- 二月下旬 見學旅行

以上

一 名 稱 集々青年團

所在地 新高郡集々庄字吳厝

- 團長 公學校長 三九歳 高木嘉幸
副團長 同 訓導 二九歳 石萬鹿
同 庄助役 二五歳 沈振乾

二沿革
大正十二年十二月二十八日設立ス
昭和二年六月十七日州訓令ニヨリ團則ヲ改正ス
昭和三年六月十七日團則ノ一部改正今日ニ至ル

三設置區域
新高郡集々庄集々、林尾、柴橋頭

四組織及編成
一、組織
公學校卒業生ニシテ滿二十歳以下ノ有志ヲ正團員トス

二、編成及團員 (總團員數五九名)

分團名稱	班數	團員職業			特別團員職業別調
		農	工	商其他	
ナ	四	一〇	二	一五	學校教員八
シ	一〇	二	一五	一八	商業三 其他三

五經費

- 一、資産ナシ
二、維持 庄補助費ニヨリテ維持ス
三、昭和六年度豫算

科 目	金 額	摘 要
庄補助金	五五〇	
繰越金	二五〇〇	
計	八〇〇〇	

歳 入

科 目	金 額	摘 要
事務費	一〇〇〇	
講習講演費	一〇〇〇	
體育費	一〇〇〇	

歳 出

娛 樂 費	圖 書 費	印 刷 費	獎 勵 費	豫 備 費	計
五〇〇	五〇〇	五〇〇	一〇〇〇	一五〇〇	八〇〇〇

選手代表者出場旅費補助ニ使用

六 施設事業

- 一、既設事業
イ 修養一夜講習會、讀書會、講習會、早起會
ロ 奉仕作業、害蟲驅除、時ノ宣傳、納稅宣傳、道路竝木手入、天然記念物保存奉仕
ハ 娛樂社交、體育會、茶話會、樂隊講習
二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
四月上旬 集々殉難祭ニ參列ス
五月下旬 新高郡廳舎落成教育品展覽會ニ出品
六月上旬 總會開催

寫眞二葉

六月下旬 公益奉仕作業ノ際集々公園ニ集合奉仕中ノモノナリ

一名稱 社子青年團

所在地 聖中州新高郡集々庄社子
團長 訓導 三五歳 陳阿月
副團長 貸家業 二六歳 陳庚午

三 設置區域

社子分教場通學區域ヲ以テ設置區域トス

四 組織及編成

一、組織

本團設置區域内ニ居住スル滿二十五歳以下ノ初等教育ヲ修了セシ者又ハ之ニ準ズヘキ者ヲ以テ組織ス

二、編成及團員(總團員數正一八名、特一二名)

二 沿革

一、設立年月日 昭和三年十月一日

二、沿革大要 地方ノ現状ニ鑑ミ有志發起シ聖中州訓令第三十二號ニ基キ設立ス

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班數	分團所屬員數	團員職業				特別團員職業別調						
				農	工	商	其他	農	工	商	教員	其他		
第一分團	芭蕉檢査所雇 黄登亮三四	二	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第二分團	社子分教場給仕傳 阿房二二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計		三	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

五 經費

一、資産 現在ナシ

但シ團員共同作業ニヨル收入ナリ及昭和六年十一月十九日附州聯合青年團發團式出席旅費ノ補助トシテ庄ヨリ十圓四十錢

二、維持

4 幹部負擔 役場ノ補助

集會若ハ團ニ於ケル諸會合ノ際必要ノ場合ハ團員各自ヨリ均一的ナル少額ニテ出費ス

團員ノ共同勤務ニ依ル收入

以上二項ニ依リテ維持セラル

三、昭和六年度豫算

項目	金額	摘要
繰越金	二五二八	
團費	三〇〇〇	
寄附金	三〇〇〇	門松請負ニ對スル一般寄附
補助金	五〇〇〇	庄ヨリ補助
財產收入	一五〇〇	
雜收入	一四二八	

歳入

項目	金額	摘要
事務費	五二〇	
講習會費	一八〇〇	
體育會費	一五〇〇	
圖書費	二〇〇〇	
通信費	五五〇	
奉仕費	三三〇〇	
會議費	一五二五	

歳出

雜計	其他
一四〇〇	二六〇
一四〇六	

六 施設事業

一、既設事業(昭和五年度中)

イ 修養 役員會、一夜講習會、團員修養講習會

ロ 奉仕 務社遺雜義捐金贈出、門松請負、橋梁流失ノ爲メ架橋共同作業

ハ 娛樂社交 忘年會、遠足、觀月會年始交禮會

ニ 其他各種行事 郡主催青年團幹部講習會員トシテ出席團員三名ヲ選出

二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項

1 團員總會

2 一夜講習會

3 役員會

4 團員觀月會

5 體育豫選會

6 親和會(忘年會)

7 奉仕的方面 架橋作業、務社遺雜者贈金

8 團員修養講習會
9 年始交禮會

一 名稱 新高郡魚池青年團
所在地 新高郡魚池庄魚池
團長 教育者 四三歳 肥後盛弘
副團長 同 二五歳 顏敏成

世ノ進運ニ伴ヒ州ノ訓令ニ基キ昭和五年六月十七日ノ始政記念日ノ吉辰ニ發團式ヲ舉ゲタリ
三 設置區域 魚池公學校及木展蘭分教場通學區域内
四 組織及編成
一、組織 本團設置區域内ニ居住スル滿二十歳以下ノ初等教育修了者ヲ以テ組織ス
二、編成及團員(總團員數九〇名)

分團名稱	分團長職業氏名年齡	班數	分團所屬員數				特別團員職業別調
			農	工	商	其他	
魚池分團	教育者 顏敏成 二六	三	〇	〇	一	八	
木展蘭分團	同 張朝四二	八	〇	〇	一	三	
計		一一	〇	〇	二	一一	

五 經費
一、資產 ナシ
二、維持 庄役場ノ補助金ニテ維持ス
三、昭和五年度豫算 歳入

科目	金額	摘要
補助金	二、〇〇〇	庄役場補助金
計	二、〇〇〇	團員一人ニツキ二五錢昭和六年二月ヨリ徵收ソノ後團員希望ニヨリ昭和六年四月以後廢止

科目	金額	摘要
補助金	二、〇〇〇	庄役場補助金
計	二、〇〇〇	團員一人ニツキ二五錢昭和六年二月ヨリ徵收ソノ後團員希望ニヨリ昭和六年四月以後廢止

科目	金額	摘要
發團式費	一〇〇〇	團員ノ晝食代
總會費	一六〇	菓茶代
講習會費	三三〇	一夜講習會費
計	二四〇	

六 施設事業

- 一、既設事業(昭和五年度中)
イ 修養 團員指導講習會、讀書會
ロ 俸仕 納稅宣傳、道路標建立
ハ 娛樂 庭球會、競技會、卓球會、登山遠足
ニ 其他
二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
イ 一夜講習會
ロ 總會
ハ 指導講習會
ニ 月例集會(毎月ノ舊曆十五日ノ晚ニ集リテ唱歌娛樂讀書、團員感想發表)
ホ 名士講演會
ヘ 庭球會、競技會、卓球會

ト 登山、遠足
チ 新入生募集
一 名稱 新高郡頭社青年團
團長 工業 四〇歳 黃 瑞
副團長 商業 二二歳 蕭 天 財

二、沿革大要
一、設立年月日 大正十二年六月二日
設立動機 會員相互ノ親睦修養ヲ企テ地方教化ノ發達ヲ圖リ兼ネテ社會奉仕ヲナスヲ以テ目的トシ大正十二年六月二日創設シ事務所ヲ頭社公學校ニ置ケリ當時ノ會則ノ重ナルモノヲ擧ケレバ滿十五歳以上三十歳以下ノモノヲ正會員トシ正會員以外ノモノニシテ本團ノ趣旨ヲ贊助セルモノヲ特別會員トス事業トシテハ補習教育講習會、社會奉仕其ノ他ノ施設ヲナシ役員トシテ會長一名分團長若干名トシ會合ヲ常例會及臨時會トシ常例會ハ毎月一回以上臨時會ハ必要ノ都合之ヲ開催スルコトトセリ基本金等ナシ、其ノ後大正十五年臺中州訓令第三三號ニ基ク青年團ヲ昭和二年二月十六日設置セリ昭和二年二月十一日臺中州ヨリ助成金一百圓ヲ交付サレ、二月十五日午後一時ヨリ青木郡守臨席ノ上青年

團獎勵金傳達式ヲ舉行セリ續イテ午後二時三十分ヨリ青年團發團式ヲ舉行シ今日ニ至ル

設置區域 頭社、水社銚櫃(頭社學校通學區域内)

組織及編成

一、組織 本團設置區域内ニ住居セル滿二十歳以下ノ公學校六ヶ年卒業ヲ以テ組織ス

二、編成及團員(總團員數四八名)

二〇六

分團各稱	分團長職業年齡氏名	班數	屬分團所員數	團員職業			特別團員職業訓
				農	工	商	
頭社分團	農業 蔡 郷 二二	二	二六	二	一	一	二
水社分團	同 黃 君 二二	二	二七	三	三	一	二
計		四	五三	五	四	二	四

五 經費

- 一、資産 百五十圓 卒業生ヨリノ寄附 五〇圓 資産 一〇〇圓
- 二、維持 團員ノ勤勞ニヨル所得及庄補助金
- 三、昭和六年度豫算

科 目	金額	摘 要
補助金	三三〇〇	役場ヨリ
門松請負	六〇〇	電力會社及鐵道工業組

六 施設事業

- 一、既設事業
- イ 修養 一夜講習會

科 目	金額	摘 要
滿洲へノ獻金	三〇〇〇	
一年團聯合會及附會	一〇〇〇	
一樓夜講習會	一〇一〇〇	

- ロ 奉仕 道路ノ保護
- ハ 娛樂社交 體育會、庭球會、音樂會
- 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
- イ 修養 一夜講習會、卒業生指導講習會、研究發表會、懇談會
- ロ 奉仕 青年會館設置
- ハ 娛樂社交 音樂會、敬老會
- ニ 其他 教育ノ普及

一 名稱 能高郡聯合青年團

所在地 能高郡

團長 能高郡守 澤井益衛

副團長 庶務課長 成田誠三

同 警察課長 寶藏寺虎一

二 沿革

昭和四年十一月四日 郡下聯合青年團ヲ組織創立ス

昭和五年二月十一日 獎勵金トシテ金百五十圓ノ交付ヲ受ケ

昭和六年二月十一日 臺中州ヨリ獎勵金トシテ金百圓ノ交付ヲ受ケ

昭和六年十一月一日 臺中州ヨリ事業獎勵助成金百圓ノ交付ヲ受ケ

- 三 加盟團體數 八
- 四 加盟團員數 三三六
- 五 經費
 - 一、資産 ナシ
 - 二、維持 現在補助金ニヨリ維持ス
 - 三、昭和六年度豫算

科 目	金額	摘 要
繰越金	三三三三	昭和五、六年獎勵金殘額
州獎勵金	一〇〇〇	昭和六年十一月交付金
利子	五七〇	昭和六年上半期利子
計	三九三三	

科 目	金額	摘 要
青年團體補助	三三〇〇	州青年團體大會選手補助

一一〇七

青年團補助金	三〇〇〇	郡下青年團へ事業獎勵金
青年團大會補助金	二六五	トシテ交付ス
維持費	二七六	青年團大會費用
計	一八四一	

六 施設事業

- 一、施設事業 (昭和五年度中)
 - 一 青年團幹部講習會 (昭和五年三月二九、三〇、三一日)
 - 二 各青年團補習教育
- 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 - 一 郡聯合青年團大會 昭和六年十月二十五日
 - 二 青年團幹部講習會 (昭和六年二月二十三、四、五日)

一名 稱 能高女子青年團

所在地 能高郡埔里街埔里
團長 埔里小學校長 三九歳 渡邊誠之進

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班數	分團所屬員數	團員職業			特別團員職業別調
				農	工	商 其他	
西門	佐藤キヨ子(保姆)二七歳 潮正子(無職)二〇歳 原ツタエ(無職)一九歳	一	九	一	一	三	教員
東、南、北門	大島牧子(保姆)二〇歳 藤井久子(無職)二三歳 山口正子(無職)一一歳 佐藤禮子(保姆)二二歳 内空閑英子(教員)二二歳 寶藏寺チエ子(無職)二二歳	一	七	一	六	一	教員

- 二 沿革

副團長 同 訓導 三六歳 北村鈴重

時勢ノ進運ニ伴ヒ女性ノ社會的地位ノ向上ヲ來シ從ツテ個人ハ勿論社會國家ニ對スル責務ノ重大ナルヲ感ズルニ至リ當地處女ノ團體組織ヲ成立スルニ至ル

昭和五年九月六日女子青年團ヲ組織スルニツイテノ相談會ヲ開ク

昭和五年十月三十日ヲ以テ發團式ヲ舉グ

設置區域 埔里街内ニ居住スル内地人處女ヲ以テ組織ス

組織及編成

 - 一、組織 團長一名 副團長一名 幹事九名(各區三名宛) 常任幹事一名
 - 二、編成及團員 (總團員數三五名)
 - 正團員 (滿二十歳マテノ處女)
 - 特別團員 (滿二十歳以上ノモノ)
 - 顧問 (特ニ推舉セルモノ) ナシ

製糖會社	大島牧子(保姆)二〇歳 藤井久子(無職)二三歳 山口正子(無職)一一歳	一	七	一	六	一	教員
東、南、北門	佐藤禮子(保姆)二二歳 内空閑英子(教員)二二歳 寶藏寺チエ子(無職)二二歳	一	七	一	六	一	教員

五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 街役場ヨリノ補助金 團員ヨリノ團費
- 三、昭和六年度豫算

歳入

科 目	金額	備 考
團補助金	一八〇〇	一名一年六十錢三〇名分
團費	三〇〇〇	

歳出

科 目	金額	備 考
事務費	三〇〇	
講習費	一〇〇〇	

六 施設事業

- 一、施設事業 (昭和五年度中)
 - イ 修養 讀書音樂練習、月例會
 - ロ 奉仕 社會奉仕(務社事件中)
 - ハ 娛樂社交 遊技
 - ニ 其他 ナシ
- 二、本年度實施シタル事項及實行ニ決定セル事項
 - イ 毎月第一、第三日曜日二月例會
 - ロ 四月始メニ一夜講習ヲ開ク

圖書費	一三〇〇	
會議費	五〇〇	
備品費	九〇〇	
計	八〇〇	
圖書費	一三〇〇	
會議費	五〇〇	
備品費	九〇〇	
計	二七〇〇	

- ハ 家事(料理)ノ實習ヲ二同行フ
- ニ シンガリーミシン講習會ヲ一週間開催ス
- ホ 圖書巡回覽覽
- ヘ 體育會、學藝會ニ参加出演ス
- ト 遠足ヲ行フ

一名稱 埔里青年團

能高郡埔里街埔里一四八
團長 教員 四六歳 谷口清之助
副團長 缺員

二沿革

昭和二年二月十一日臺中州訓令ニ準據シ設立ス
設置區域ヲ埔里公學校通學區域内トシ十一分團ニ分チ卒業
生中滿二十歳マデノ者ヲ以テ組織ス
昭和四年四月一日組織ヲ改變シ主トシテ市街地ニ居住スル
卒業生ノ有志ヲ以テ組織シ年齡ヲ滿二十五歳マテ延長ス
昭和四年十一月四日能高郡聯合青年團組織サル

三 設置區域 埔里街埔里

四 組織及編成

一、組織 埔里街埔里在住ノ卒業生有志ノ滿二十五歳以下
ノ者ヲ以テス

二、編成及團員(總團員數三七名)

分團名稱	分團長職業氏名年齡	班數	分團所屬員數	團員職業				特別團員職業別調
				農	工	商	其他	
第一分團	小使 簡來發 二二	一	一〇					信用組合
第二分團	商業 林昆山 二二	一	五					役場技手
第三分團	家事 柯仁樹 一六	一	九					家事

五經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持補助金

三、昭和六年度豫算

歳入

科目	金額	摘要
補助金	五〇〇〇	埔里街役場ヨリ補助
繰越金	六〇〇	

歳出

科目	金額	摘要
事務費	三〇〇	用紙代
修養費	一五〇〇	講習會費、野營費、雜誌
娛樂費	六〇〇	茶話會費
體育費	三〇〇	體育會費
奉仕費	三〇〇	納稅宣傳ビラ印刷、冬防
其他	一七〇〇	警戒費
計	五、〇〇〇	

六 施設事項

- 一、既設事項 (昭和五年度中)
 - イ 修養 月例會、講習會二回(學科、舞踊)
 - ロ 奉仕 納稅宣傳一回、冬防警戒四日間、務社事件中ノ警戒及雜役

- ハ 娛樂社交 茶話會、觀月會、送迎、會葬等
 - ニ 其他各種行事
 - 總會、遠足(務社)、夜營、務社事件義捐金、令旨捧讀式及學藝會
 - 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 - 月例會、講習會二回、夜營、遠足、州郡體育會參加、州郡聯合青年團大會參加、冬防警戒、神社美化作業、音樂會參加、實習地經營、納稅宣傳
- 以上

一名稱 埔里女子青年團

所在地 埔里公學校分教室内
團長 教員 四七歳 谷口清之助
副團長 缺員

二 沿革 昭和五年六月創設

三 設置區域 埔里公學校通學區域内

四 組織及編成

一、組織

二、編成及會員(總團員數四二名)

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班數	分團所屬員數	團員職業			特別團員職業別調
				農	工	商	
ナ	分團ヲ設ケズシテ幹事ヲ置ク 家事従業者(商) 廖氏粉妹	ナ	ナ	二	一	一六	
シ	同 陳氏碧風 李氏春香 王氏東桂 黃氏桂英 (農)	ナ	ナ	二	一	一五	

五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持費 金三十五圓
- 三、昭和六年度豫算

科目	金額	摘要
補助金	二五〇〇	埔里街役場ヨリ
交附金	一〇〇〇	能高郡役所ヨリ
計	三五〇〇	

歳出

科目	金額	摘要
購讀費	八八〇	女子青年歌謠集、青年必携青年讀本
儀式費	一三〇〇	令旨捧讀式
講習費	一〇〇〇	講習證書
事務費	二〇〇〇	小舟借料、茶代
遠足費	二七〇〇	女子青年會館建立寄附
寄附金	三〇〇〇	
家事實習材料	四〇〇〇	

六 施設事業

- 一、施設事業 (昭和五年度中)
- イ 修養方面

種別	金額
整年度繰越	二一〇〇〇
計	一〇〇〇〇
	三三〇〇〇

- 1 夏季女學講座開設
 - 2 毎月例会ノ開催 (公民的教養ヲ第一トシテ)
 - 3 家事實習
 - 4 購入或ハ寄附ニヨル婦人雜誌ノ回覽
 - 5 常識涵養ノタメ贈寫刷ノ配布
 - 6 ミシン、刺繡、洗濯講習ニ出席
 - 7 講演會(各種)教育活動寫眞等ニ團體出席
- ロ 奉仕方面
- 1 霧社事件ニ街役場、郡役所ノ慰問袋調製ニ當ル
 - 2 能高社祭典ノ燈籠ノ花造リヲナス
 - 3 節婦招待ヲナス
- ハ 娛樂方面
- 1 遠足

- 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
- イ 修養方面

- 2 (家事實習) 試食會
 - 3 學藝會ノ觀覽
 - 4 其他各種行事 ナシ
 - 1 夏季女學講座開設
 - 2 毎月例会
 - 3 家事實習
 - 4 寄贈ヲ受ケタル雜誌類ノ回覽
 - 5 常識涵養ノタメ贈寫刷配付
 - 6 各種講演會ニ出席
- ロ 奉仕方面
- 1 滿洲事件獻金ノタメ日用品ノ廉賣ヲ行フ
 - 2 母校運動會ニ救護及接待係トシテ奉仕ス
- ハ 娛樂方面
- 1 遠足
 - 2 舞踊唱歌
 - 3 運動會 (舊正月)
- 以上

一名稱 烏牛欄青年團

所在地 埔里街
團長 教員 三六歲 小川 滋
副團長 同 二八歲 內田 賢吉

二沿革

一、設立年月日 昭和二年二月二十七日
二、沿革大要

公學校卒業後ニ於ケル青年修養機關トシテ臺中州令ニ基キ烏牛欄青年團ヲ組織シ昭和二年二月二十七日發團式ヲ舉グ

昭和三年二月十一日臺中州知事ヨリ金百五十圓事業獎勵金トシテ下付セラレ

昭和六年十月十七日能高郡聯合青年團ヨリ金二十五圓助成金トシテ交付セラレ

三 設立區域 烏牛欄公學校通學區域ヲ以テ設置區域トス
四 組織及編成

一、組織

本團ハ設置區域内ニ居住スル滿二十歳以下ノ初等教育修了者ヲ以テ組織ス

二、編成及團員 (總團員數五六名)

分團名稱	分團長職業氏名年齡	班數	分團所屬員數	團員職業				特別團員職業別調
				農	工	商	其他	
烏牛欄分團	農業 談合成 一九	一	二				一 官吏一 教員六	
阿里史分團	店員 潘完發 二〇	一	八				其他三	
房里分團	信用組合 洪江傳 一七	一	六					
大肚城分團	製糖會社 林輝明 二四	一	四					
林仔城分團	農業 施瓊林 一六	一	五					
恒吉城分團	店員 蕭忠性 一七	一	六					

五 經費

一、資產 ナシ

二、維持補助金ト團費ニ依ル
三、昭和六年度豫算

科目	金額	摘要
補助金	三三,〇〇〇	
團費	二六,二〇〇	一人五錢(昭和六年六月分ヨリ徵集四十六人分)
助成金	三五,〇〇〇	
附金	一,〇〇〇	
寄附金	三三,一六〇	
總計	一三〇,二六〇	

科目	金額	摘要
事務費	三,五〇〇	消耗品費二圓五十錢 通信費一圓
講習會費	三,〇〇〇	
體育會費	一〇,六七〇	賞品代
例會及總會費	一五,〇〇〇	例會三圓 總會十二圓
雜費	四,五七〇	
積立基金	二〇,〇〇〇	

科目	金額	摘要
見學旅行費	三,四〇〇	青年團大會出席團員四名 旅費補助四人分三圓〇錢
文庫費	二,〇〇〇	
團服調製補助費	一一,三〇〇	
計	一六,七〇〇	

六 施設事業

一、既設事業

學力向上講習會
音樂會
體育會
一夜修養講習會

二、本年度中ニ實施シタル事項又ハ實施ニ決定セル事項

月夜講習會
體育會
日月潭へ遠足
讀書會
總會

一名稱 史港青年團

所在地 臺中州能高郡埔里街史港坑

二 沿革
 團長 公學校長 四三歲 島袋嘉民
 副團長 農 業 二〇歲 游好賢
 大正十五年四月設立セル史港青年會ヲ昭和二年二月二十一日解散シ即日州訓令ニ基キ史港青年團ヲ組織ス

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班數	分團所屬員數	農	工	商	其他	特別團員職業別調
史港分團	農 何定貴 二〇	一	三三	二〇	一	一	一	二 教員
小埔社分團	農 黃添龍 一九	一	二八	二四	一	一	一	一 同

五 經費
 一、資産 ナシ
 二、維持 街ノ補助ヲ以テ維持ス
 三、昭和六年度豫算

科 目	金額	摘要
補助金	二五〇〇	街ヨリノ補助
同	二五〇〇	郡ヨリノ助成金トシテ補助ヲ受ク

三 設置區域 史港坑、福興、小埔社
 四 組織及編成
 一、組織 公學校卒業生ニシテ滿二十歳迄ノ男子及公學校職員ヲ以テ組織ス
 二、編成及團員 (總團員數四四名)

科 目	金額	摘要
旅費	二五〇〇	州青年團大會へ参加旅費
團服費	二五〇〇	(五人分) 六年七月一日舉行團服調製補助チナス

六 施設事業
 一、既設事業 (昭和六年度中)
 イ 修養 講話會 昭和六年十一月下旬實施ス
 ロ 奉仕 ナシ
 ハ 娛樂社交 聯合運動會開催昭和六年十月三十日舉行ス
 ニ 其他各種行事州主催青年團大會へノ参加

二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 イ 夜間短期講習會 二月上旬實施スルニ決定ス
 ロ 庭球會 三月上旬實行スルニ決定ス

一 名稱 溪南青年團
 所在地 能高郡埔里街溪南分教場内
 團長 訓導 三六歳 劉春華
 副團長 高等科在學 一六歳 石水泉

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班數	分團所屬員數	農	工	商	其他	特別團員職業別調
		三	一	二	一	三	六	農八 訓導一

三 設置區域 溪南分教場通學區域一團(珠子山、生蕃空、桃米坑等一團)
 四 組織及編成
 一、組織 普通團員ト特別會員トヲ以テ組織ス
 但シ溪南分教場通學區域内ニ居住スル初等教育終了者ニシテ滿二十歳以下ノ者ヲ普通團員、滿二十歳以上ノ者ヲ特別團員トス
 二、編成及團員 (總團員數二九名)

五 經費
 一、資産 ナシ
 二、維持
 1 街役場ノ補助
 2 助成金

3 有志ノ寄附
 4 團員自辨
 三、昭和六年度豫算

歳入

科 目	金額	摘 要
社會教化補助費	二五〇〇 ^円	埔里街役場ヨリ補助
助 成 金	一五〇〇	郡ヨリ

歳 出

科 目	金額	摘 要
旅 費	三〇〇〇 ^円	州下聯合青年團大會ニ出席ノ爲メ

六 施設事業

- 一、既設事業（昭和五年度中）
 - イ 修 養 讀物調覽、講話、講習會
 - ロ 奉 仕 國防献金、廟寺ノ清潔
 - ハ 娛樂社交 遠足、唱遊ノ練習、劇ノ練習、ハーモニカノ練習
 - ニ 其 他 一人一研究（副業研究）
- 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 - イ 讀物調覽、講習會、講話、敬老會

- ロ 遠足、川遊、献金、廟寺清潔、舞踊ノ練習、音楽ノ練習、劇ノ練習、一人一研究
- ハ 總會開催

以上

一 名稱 北山坑青年團

所在地 能高郡國姓庄北山坑百十二番地

團 長 教 員 五三歳 石堀忠四郎

副團長 農 業 一八歳 蔡 土

二 沿革

昭和三年九月二十七日結團

三 設置區域

北山坑一圓竝ニ大石股、柑子林ノ一部

四 組織及編成

一、組織

臺中州訓令ニヨリ北山公學校卒業生ニシテ滿二十歳未滿ノモノヲ團員トシ役員ニハ顧問、團長、副團長、班長幹事ヲ以テ組織シ本團ニ關スル協議ヲナス

二、編成及團員（練團員數二五名）

分團名稱	分團長職業氏名年齢	班 數	分團所 屬員數	團 員 職 業				特別團員職業別調
				農	工	商	其他	
北山坑分團	農 黃 清 通 二〇	二	一七	一七	〇	〇	〇	〇
柑子林分團	工 胡 集 安 二〇	一	八	八	〇	〇	〇	〇

五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 寄附金
- 三、昭和五年度豫算

歳 入

科 目	金額	摘 要
助 成 金	二五〇〇 ^円	
寄 附 金	二〇〇〇	

歳 出

科 目	金額	摘 要
旅 費	一六八〇 ^円	臺中州第一回青年團大會ニ出席四名分

六 施設事業

- 一、既設事業（昭和五年度中）
 - イ 修 養 指導講習會、一夜講習會、短期講習會
 - ロ 奉 仕 ナシ
 - ハ 娛樂社交 茶話會
 - ニ 其他各種行事 ナシ
- 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
 - イ 修 養 短期講習會、一夜講習會
 - ロ 奉 仕 州路ニ竝木植付（四百六十本）、休憩所一棟建築
 - ハ 娛樂社交 茶話會、登山

以上

一 名稱 國姓青年團

所在地 能高郡國姓庄國姓

二 沿革

一、設立年月日 昭和二年三月一日
 二、沿革大要 國民精神涵養公共自治ノ精神涵養實際的智
 能ノ修養醇厚中正ノ思想涵養ノ目的ヲ動機

團長 公學校教員 四八歳 佐久田昌和
 副團長 同 二四歳 李 丁

三 設置區域

トナリ昭和二年三月一日發團式舉行
 一、組織 國民公學校通學區域内ニ住居スル滿二十歳以下
 ノ初等教育修了者又ハ之ニ準ズベキ者ヲ以テ組
 織ス
 二、編成及團員 (總團員數七四名)

分團名稱	分團長職業氏名年齡	班數	分團所屬員數		特別團員職業別調
			農	工 商 其他	
國姓分團	農業 林惠宗 二五	一	三	一	
龜仔頭分團	教員 游朝仁 二二	一	三	一	
水長流分團	同 王有財 二二	一	三	一	
計		三	九	三	

五 經費

一、資產 ナシ
 二、維持 庄役場補助ニヨル
 三、昭和六年度豫算

科目	金額	摘要
歳入	1	
歳出	1	

六 施設事業

一、既設事業 (昭和五年度中)
 一 修養 一夜講習會(二回) 向陽誌ノ輪讀
 二 本仕 橋梁ノ修繕一回
 三 娛樂社交 體育會、音樂會各一回
 四 其他各種行事 ナシ

科目	金額	摘要
1	1	

二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項

前年度中ノ既設事項ニ同シ 以上

一 名稱

竹山郡聯合青年團
 所在地 竹山郡役所
 團長 竹山郡守 五一歳 朝倉 哲雄
 副團長 庶務課長 四四歳 猪股力兵衛
 副團長 警察課長 四三歳 寺尾徳右衛門

二 沿革

本團ハ竹山郡下青年團ノ連絡統一ニ努メ其ノ進歩發達ヲ圖
 ル目的ヲ以テ昭和五年十月十七日本郡郡守ヲ團長ニ推戴シ
 設立シタルモノナリ

三 加盟團體數 六
 四 加盟團員數 三一四
 五 經費

1. 資產 無シ
 2. 維持 臺中州ノ助成金ニ依リ維持ス
 3. 昭和六年度豫算

科目	金額	摘要
寄附金	100	有志寄附金
助成金	100.00	州助成金

科目	金額	摘要
補助金	5000	青年團幹部講習會補助
會費	3000	青年團幹部講習會費
繰越金	2700	前年度繰越金
計	11400	

歳出

科目	金額	摘要
備品費	2300	野營具ノ購入
消耗品費	1000	
事務費	500	
幹部講習費	3000	幹部講習會費
青年團會費	5000	運動會總會費
其他	1300	一〇圓表彰費三圓雜費
計	21400	

六 施設事業

一、既設事業
 一 聯合青年團設立總會
 二 青年團幹部指導講習會
 三 製作物展覽會

- 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
- イ 青年團幹部指導講習會
 - ロ 總會
 - ハ 體育會
 - ニ 製作物展覽會

一名稱 竹山青年團

所在地 竹山公學校

團長 教育者 三四歳 山口正俊

副團長 同 四二歳 陳木水

二沿革

- 一、設立年月日 昭和三年十月三十日

二、沿革大要

昭和三年十月三十日教育勅語御下賜日ヲトシ御大典記念事業トシテ州訓令ニ基キ本團ヲ設立シ昭和六年九月二十八日過溪分團ヲ設立ス

三 設置區域

竹山公學校及ヒ過溪分教場通學區域内

四 組織及ヒ編成

1. 組織

設立區域内ニ居住スル滿二十歳以下ノ初等教育修了者又ハ之ニ準スベキ者ヲ以テ組織ス

- 但シ上級學校ニ在學中ノ者ハ團員タルコトヲ得ズ
- 2. 編成及ヒ團員(總團員數六五名)

分團名稱 (本校ノ分) 過溪分團	分團長職業氏名年齢	班數	團員職業				特別團員職業別調
			農	工	商	其他	
教員 四〇歳 吳節		四	二	一	一	九	教員 九名 同 二名

五經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 庄補助

三、昭和六年度豫算

歳入

科目	金額	摘要
補助金	六〇〇	昭和六年度庄ヨリ補助
繰越金	一九三	前年度繰越金
財産收入計	七九三	

歳出

科目	金額	摘要
講習講演費	三〇〇	野外講習、幹部講習費
娛樂費	五〇〇	ビンポン一組代
圖書費	二五三	書籍代
大會費	三五〇	州大會郡大會費
大計	七九三	

六 施設事業

一、施設事業

- 1. 實施シタル事項
 - イ 朝起會
 - ロ 修養讀書會

- ハ 體育會
- ニ 學藝會
- ホ 娛樂
- 1. 遊技、競技
- 二、本年度ニ實施シタル事項又ハ實施ニ決定セル事業
 - イ 朝起會
 - ロ 修養會
 - ハ 體育會
 - ニ 學藝會
 - ホ 娛樂
 - 1. 庭球試合
 - 2. 唱歌
 - 3. 遠足
 - ヘ 新入生募集後援

一名稱 鹿谷青年團

所在地 竹山郡鹿谷庄鹿谷

團長 教員 三四歳 三島孝治郎

副團長 教員 四四歳 陳

副團長 教員 二八歳 蘇汝讀

二 沿革

昭和二年十月二日ヨリ二週間ノ卒業生指導講習會ヲ期トシ以後引續キ各週一回宛部別ニ夜間讀書修養會ヲ實施シ昭和三年五月三十日ニ至リ鹿谷青年團ヲ組織セルモノナリ設置區域 鹿谷公學校通學區域一圓

四 組織及編成

一、組織 鹿谷公學校並ニ同分教場ノ卒業生ニシテ滿二十五歳以下ノモノヲ普通團員トシ前項以外ノモノニシテ本團ノ總旨ニ賛助セルモノヲ特別團員トス
二、編成及團員(總團員數六十八名)

分團名稱	分團長職名	氏名	年齡	班數	分團所屬員數	團員職業			特別團員職業別調
						農	工	商	
鹿谷分團	庸(信組)		二一歳	區添壽	三				教員 一〇名
車枕家分團	教員		二九歳	陳和壽	二				商 一名
小半天分團	教員		二四歳	林爲國	二				吏員 一名
計					六	三	一	六	

五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 青年團補助金及勞力作業ニヨル收入ヲ以テ維持ス
- 三、昭和六年度豫算

科 目	金額	摘要
歳入		

科 目	金額	摘要
總 計	二六、六〇〇	昭和五年度ヨリノ繰越金
奉仕作業ニヨル	五、〇〇〇	
獎勵金	五、〇〇〇	
共同作業ニヨル	五、〇〇〇	
收入	五、〇〇〇	
庄助成金	五、〇〇〇	
計	一七、六〇〇	

六 施設事業

科 目	金額	摘要
キャンプ用具	五〇、〇〇〇	
總入會費	五、〇〇〇	
登山費	五、〇〇〇	
野營費	一〇、〇〇〇	
一夜講習會費	一〇、〇〇〇	
試膽會費	一〇、〇〇〇	
體育會費	一〇、〇〇〇	
奉仕作業費	一〇、〇〇〇	
共同作業費	一〇、〇〇〇	
映寫會費	五、〇〇〇	
部落學藝會費	五、〇〇〇	
大會費補助費	二〇、〇〇〇	
分團補助費	六、〇〇〇	
點燈費	五、六〇〇	
雜費	一〇、〇〇〇	
計	一七六、六〇〇	

一、既設事業

- イ 修養 一夜講習會、學力向上會、試膽會總會、讀書中心相互講習會、青年俱樂部設置
- ロ 奉仕 道路修繕、公園設置工事、兒童募集
- ハ 娛樂社交體育會、野營會、庭球會
- ニ 其他 國語普及會指導、共同作業
- 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項
讀書修養會、月次會、野營會、奉仕作業、講習會、體育會、部落學藝會、總會、國語普及會指導、登山會、兒童募集、國旗掲揚場及指導標設置

以上

一名稱 社寮青年團

所在地 竹山郡社寮公學校
團長 公學校訓導 四二歳 伊志嶺朝堅
副團長 同 三一歳 莊 木 夏

二 沿革

昭和五年十月十五日設立當時ノ代表者ハ社寮公學校長伊志嶺朝堅現在會員二十八名ニシテ昭和五年十月十七日郡聯合青年團設立ト共ニ加盟

三 設立區域

四 竹山庄社寮及後埔子二團
組織及編成

一、社寮公學校通學區域內ニ居住スル滿二十歳以下ノ初等

教育修了者又ハ之ニ準ズベキ者ヲ以テ組織ス
二、編成及團員(總團員數二八名)

分團名稱	分團長氏名	年 齡	班 數	分團所屬員數	團員職業				特別團員職業別
					農	工	商	其他	
社寮分團	三〇歳	楊慶安	二	三					公學校職員 五
後埔子分團	三一歳	莊木夏	一	三	九				

五 經費

一、資産 ナシ
二、維持 團員ノ勤勞ニヨル收入又ハ補助金其ノ他ノ收入ヲ以テ維持ス
三、昭和六年度豫算 歳入

科 目	金 額	摘 要
團費	円	
財產收入		
補助金	500	竹山庄補助
寄附金		

科 目	金 額	摘 要
雜收入		
勤勞收入	300	
販賣部收入	800	
計		

科 目	金 額	摘 要
事務費		
總會費	300	賞品代
體育會費	600	體育會賞品代一、五圓 辨當三十八人分一人十五錢 計四、五圓

科 目	金 額	摘 要
圖書費	250	青年必携二十五冊、一冊十錢計二、五圓
印刷費	240	更紙一ノ代二、四圓
通信運搬費	1	
修養費	700	キャンプ二團、蔬菜品評會三團、一夜修養會二團、計七團 郡聯合青年團幹部講習會五人分一人二付二圓計一〇圓 州主催青年團大會出席五人分一人二付三、一圓計一五、五圓 テント一號及、ハ、ゴ二個購入費三、二圓 合計五八、七圓
其他	天七	
計	800	

六 施設事業

一、既設事業
イ 修養
一、毎月十五日、月例會開催シテ唱歌、朗唱、感話、講話等ヲナス
二、昭和六年四月十五日ヨリ昭和七年三月中旬迄夜學會開設
三、九月中旬ヨリ十二月中旬マテ朝起會開催

日奉仕

一、朝起會ト共ニ聖王廟内外ノ掃除
二、公學校々々地理立
三、納稅宣傳
ハ 娛樂社交
一、公學校學藝會參加
二、公學校運動會參加
三、臺中市見學
ニ 其他各種行事
一、鳳梨共同試作(現在二千本栽培)
二、本年度實施シタル事項
一、毎月月例會(毎月十五日)
二、式日參列
天長節(四月二十九日)建功神社造拜式(四月三十日)始政紀念日(六月十七日)臺灣神社祭(九月二十八日)明治節(十一月三日)青年記念日(十一月二十二日)國威發揚誓願式(十二月十日)
三、夜學會開設(四月八日)
四、竹箒製作(六月十六日)
五、納稅宣傳(七月二十三ヨリ三日間)

- 六、鳳梨植付(八月二十四日)
- 七、朝起會開始(九月十八日)
- 八、公學校校地埋立(九月十八日)
- 九、公學校運動會參加(十一月三日)
- 一〇、朝起會終了(十二月十八日)
- 一一、臺中市見學(十二月二十七日ヨリ三日間)
- 三、實行ニ決定セル事項
- 一、公學校學藝會參加(舊曆正月)
- 二、からし菜品評會

以上

一名稱 東埔納青年團

分團名稱	分團長職業氏名年齡	班數	分團所屬員數	農	工	商	其他	特別團員職業別調
第一分團			一八	一	一	四	一	公學校訓導 四

- 所在地 臺中州竹山郡竹山庄大字江西林字東埔納 四三九
- 團長 公學校訓導 三一歲 鶴田儀三
- 副團長 同 三七歲 陳清响
- 二沿革 昭和五年十月十三日創立
昭和五年十月十七日竹山郡聯合青年團ニ加盟昭和五年十一月二十八日令旨贈本ヲ拜受ス
- 三設置區域竹山庄大字埔心子、江西林、箕子林
- 四組織及編成
- 一、組織 設立區域内居住滿二十歳以下ノ初等教育ヲ卒業セシ者ヲ以テ組織ス
- 二、編成及團員(總團員數二七名)分團、班ヲ置カズ

五 經費

- 一、資産 ナシ
- 二、維持 團員ノ勤勞ニ依ル收入及ビ庄ヨリノ補助金
- 三、昭和六年度豫算

科 目	金額	摘要
補助金	五〇〇〇	庄ヨリノ補助金

計 歳出 五〇〇〇

科 目	金額	摘要
總會費	三〇〇	茶話會一人ニ付十錢三十人分賞品代其他
體育會費	五〇〇	
圖書費	四〇〇	
通信運搬費	一〇〇	
修養費	一〇〇	雜誌「使命」七ヶ月分代一ヶ月一冊、五圓一冊一五錢一〇冊分代
郡青年團幹部講習會費	六〇〇	贈費一人ニ付一圓二十錢五人分
州青年團大會費	一六〇〇	臺中行出席團員一人ニ付四圓四人分
其他	四〇〇	青年指導贈寫用紙其他
計	五〇〇〇	

六 施設事業

- 一、既設事業(昭和六年度中)
- イ 修養 毎週土曜日午後學校ニ集合シ公民的指導ヲナス
- ロ 奉仕 六月三十一日午後鄭成功ノ廟ヲ清潔ニ掃除ス

- ハ 娛樂社交、毎土曜集合ノ折競技、遊戲ヲナス
- ニ 其他各種行事、體育會開催學校ノ儀式ニ參列
- 二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項既設事業ニ同シ
- 郡、州青年團大會ニ出席ス
- 郡主催學校成績品製作品展覽會へ出品ノ豫定

一名稱 坪子頂青年團

所在地 竹山郡鹿谷庄坪子頂
團長 教員 四三歲 廖添進
副團長 四六歲 林宗慶

- 二沿革 本團ハ鹿谷庄長林邦光氏ノ發起ニテ昭和二年八月十八日總代會ヲ催シ青年團ノ設立ヲ協議シ直チニ團員ノ募集ニ著手シ同年八月三十六日團員ニ入團誓約書ニ捺印セシメテ結團式ヲ行ヒタリ
- 三設置區域 坪子頂公學校通學區域内トス
- 四組織及編成 坪子頂公學校通學區域内ニ居住スル滿二十五歳

以下ノ公學校教育修了者又ハ之ニ準ス可キ者ヲ以テ組織ス

二、編成及團員(總團員數七九名)

二三〇

分團名稱	分團長職業氏名年齡	班數	分團所屬團數	團員職業			特別團員職類別調
				農	工	商其他	
坪子頂分團	教員 林 妙 昆 二八	四	六				農 業 一〇
大丘園分團	農業 廖 秋 萬 二八	二	六				農 業 一〇 商 業 三 其 他 三
計		六	六				農 業 一〇 商 業 三 其 他 三

五 經費

- 一、資産ナシ
- 二、維持 團員ノ勞銀並寄附金
- 三、昭和六年度豫算

科 目	金 額	備 考
團費	三〇〇	
財產收入	一	
補助金	五〇〇	
寄附金	二〇〇	

科 目	金 額	備 考
繰越金	二五〇〇	
雜收入	一〇〇〇	
勞働收入	七〇〇	
販賣部收入	一〇〇〇	
計	一、〇〇〇	

科 目	金 額	備 考
事務費	四〇〇	
總務費	一〇〇〇	
體育費	一、三〇〇	

科 目	金 額	備 考
圖書費	一〇〇〇	
印刷費	三〇〇	
通信運搬費	二〇〇	
樂隊見習費	一	
講習會費	二〇〇	
奉仕費	六〇〇	
登山會費	一〇〇〇	
月例會費	二四〇〇	
見學旅行	三三〇〇	
天幕購入	二五〇〇	
飯盒購入	一〇〇〇	
國語補習會	六〇〇	
貯金獎勵費	二二〇〇	

六 施設事業 (昭和五年度中)

一、施設事業

イ 修養

毎週ノ水曜及土曜ノ二日ノ午後一時半ヨリ三時半マテ青年讀本ニ依リ國語補習ヲナス、殊算科モ加ヘタリ、毎月ノ月夜ニ例會ヲ催シ團員ノ意志ノ疏通及心身ノ修養ヲナシタリ

ロ 奉仕

毎月ノ一日ニ道路及橋梁ヲ修繕シタリ、六月二十八日裨拔ヲシタリ八月十五日ヨリ五十三次早廻リノ選手ノ道案内ヲナシタリ、十月十九日道路(東埔納察行)ノ雜草ノ刈取及改修ヲナシタリ

ハ 娛樂社交

毎週ノ水曜及土曜ノ二回ノ競技及庭球ヲナシタリ、二月十一日紀元節ニ體育會ヲ開キテ庭球及競技會ヲ催シタリ、四月二十四日鹿谷青年團八月七日中等學生ト庭球試合ヲナシテ勝利ヲ得タリ、九月一日ドツテボールノ試合ヲナシタリ

ニ 其他各種行事

六月十五日總會開催競技會ヲナシタリ、十月十七日郡下青年團發團式ニ參加シ對抗競技ニ大勝利ヲ得タリ、十二月三日團長並林分團長班長二人ノ表彰祝賀會ヲ開催シタリ十一月三十一日御大典紀念公青聯合運動會ヲ開催シタリ、十一月二十二日令旨御下賜滿十週年ノ令旨奉讀式並體育會ヲ催シタリ十一月一日ヨリ十日間演習林ノ造林ノ下刈ヲ引受ケ純益金六十三圓ヲ得タリ

二、本年度實施シタル事項又ハ實行ニ決定セル事項

イ 修養

每週ノ水曜土曜ノ午後一時半ヨリ三時半マデ青年讀本ニ依リ國語補習ヲナス、珠算並實科ノ二科モ加ヘタリ、毎月各班テ集合スル外毎月ノ月夜ニ例會ヲ催シ團員ノ意志ノ疏通ヲ計リ及農事ニ關スル討究ヲナス、九月二十六、七日ニ日月潭湖畔ニ於テ一夜講習會ヲ催シタリ、
 奉仕 毎月一日及十五日ノ兩日ノ朝美化作業ヲナス、二月二十五日水子尾橋ノ改修ヲナシタリ、五月三日同橋流失ノタメ竹橋ニケ所ヲ架ケタリ、七月二十二日納稅宣傳ヲナス、十月二十四日鷹朽シタル水子尾橋ヲ改修ヲナシタリ
 娛樂社交 每週ノ水曜、土曜ノ午後一時半ヨリ競技及庭球ヲナス、七月三十日、十月十四日體育會開催シタリ、十一月三日登山競争會ヲ催シタリ
 其他各種行事 六月十七日總會開催シタリ、十月四日郡聯合青年團大會ニ參加シテ對抗競技ニ大勝

利ヲ得タリ、十一月十五日郡體育會ニ參加シテ優勝カップヲ獲得シタリ、十二月二十七日御大典紀念公青聯合運動會ヲ催シタリ

以上

一名稱 勞水坑青年團

所在地 勞水坑公學校

團長 教員 三九歳 喜友名朝順

副團長 教員 二八歳 石 德 禽

二 沿革

卒業生指導講習會修了ノ翌日昭和五年九月十九日結團昭和五年十月十七日竹山郡聯合青年團ニ加盟

三 設置區域

竹山庄勞水坑、桶頭、山坪頂一團

四 組織及編成

一、組織 勞水坑公學校區域內居住滿二十五歳以下ノ初等教育修了者又ハ之レニ準スベキ者ヲ以テ組織ス

二、編成及團員(總團員四七名)

分團名稱	分團長 職業氏名 年 齡	班 數	分團所屬團數		特別團員職業別調
			農	工 商 其他	
第一分團	教員 石 德 禽	二八	一	一	一
第二分團	教員 謝 明 家	二五	一	一	一
第三分團	教員 川 田 佐 隆	二六	一	一	一
計			三	三	三

五 經費

一、資產 ナシ

二、維持 團員ノ勤勞ニヨル收入又ハ補助金其ノ他ノ收入

ヲ以テ維持ス

三、昭和六年豫算

科 目	金額	摘 要
補助金	5000	竹山庄ヨリ補助
寄附金	4000	勞水坑、山坪頂桶頭三部落ヨリ寄附
團費	1000	團員ヨリ徴收ス
財產收入	1000	前年度ノ繰越金
雜收入	1000	
動勞收入	3000	竹曳等
販賣收入	1000	

支 出

科 目	金額	摘 要
事務費	1100	
總會費	1000	
體育會費	500	賞品代
圖書費	500	青年ノ讀物
印刷費	500	用紙類、原紙等
通信運搬費	300	
講習會費	1000	
野營具購入	3000	天幕及飯盒
修養費	5000	修學旅行ノ補助
其他費	11000	樂隊練習ニ付講師ノ謝禮
計	12000	

六 施設事業

- 一、既設事業(昭和六年度中)
 - イ 修養 青年讀本購讀及青年カード購讀
 - ロ 奉仕 指導標建設及道路修繕
 - ハ 娛樂社交 音樂毎月ノ集合日ニ行フ遠足
 - ニ 其他 共同作業、體育競技ニ參加講話會
- 二、本年度實施シタル事項及實施セントスル事項
 - 一、實施シタル事項ハ既設事業ニ同シ
 - 二、實施セントスル事項
 - 日月潭へ視察 一夜講習會

二、少年團

- 一 團名 臺中市聯合少年團
- 所在地 臺中市役所内
- 二 役員
 - 團長 臺中市尹 名和仁一
 - 副團長 同助役 宗藤大陸
 - 理事 七名 評議員 三二名 顧問 四名
- 三 加盟團

團名	隊數	班(組)數	健兒數	指者數
小櫻少年團	一	四	四〇	一
新富少年團	一	一〇	六〇	一
中公少年團	一	四	三〇	一
曙少年團	二	四	三〇	一

四 經費(昭和六年度豫算)

收入		支出	
金額	摘要	金額	摘要
三〇〇.〇〇	市補助金	一三〇.〇〇	指導費
二〇〇.〇〇	寄附金	二五〇.〇〇	各團へ分與
計		四〇〇.〇〇	備品費
		一〇〇.〇〇	消耗品費
		五〇〇.〇〇	雜費
		三〇〇.〇〇	加盟
		一七〇.〇〇	豫備金
五〇〇.〇〇	計	五〇〇.〇〇	計

五 經營指導ノ概況

- 一、理事會ニテ經營指導ノ方針協議一隨 時
 - 一、指導者會ニテ指導ノ具體案協議一毎月一回
 - 一、合同訓練 一毎月一回
 - 一、合同野營 一一年一回
 - 一、經費ハ寄附金及市ヨリノ補助金ニヨル
- 六、沿革大要
- 昭和五年四月三日 臺中少年團トシテ結團
 - 同 六年四月二十九日 四隊獨立シテ四團トナリ市聯合團
 - 同 年六月三十日 少年團日本聯盟ノ承認ヲ受ケ

- 登錄番號聯第三三號
- 一 團名 小櫻少年團
 - 所在地 臺中第一尋常高等小學校内
 - 二 役員
 - 團長 田中米藏
 - 副團長 安倍英喜
 - 隊長 田島正夫
 - 副隊長 神戶憲一
 - 同 佐方博
 - 三 團員

隊別	隊數	班數	見習	健兒	計
幼年隊	一	四	三〇	一〇	四〇
計	一	四	三〇	一〇	四〇

五 指導用具 野營用具有 經費 昭和六年度豫算

金額	摘要	金額	摘要
二五〇.〇〇	收入	二五〇.〇〇	支出

收入		支出	
金額	摘要	金額	摘要
六〇〇.〇〇	團員酬金	一〇〇.〇〇	備品費
二五〇.〇〇	補助金	一〇〇.〇〇	訓練費
計		二〇〇.〇〇	雜費
		二五〇.〇〇	計

六 指導概況

- 一、毎週火曜日ヲ訓練日トシ、月三回ノ夜ノ集ヒ、一學期ニ一回乃至二回ノ半夜野營ヲ行フ
- 二、健兒ノ自發活動、工夫創作ヲ基トシ、遊戯ニ作業ニ常ニ之ノ方面ノ指導ニカム
- 三、共同勞作ニ於ケル各己人ノ位置ヲ自覺セシメヒイテ社會組織全體生活ノソレニ及ボサントス

七 沿革大要

一、昭和五年四月二十九日 臺中市少年團明治隊トシテ指導者一名健兒十三名ヲ以テ臺中一小内ニ設立

- 二、同 年十月新入團者三十名指導者二名ヲ加フ
- 三、同 六年四月二十九日 結盟式ノ結果小櫻少年團トナリ少年團日本聯盟ニ加盟ス

- 一 團名 新富少年團
所在地 臺中市新富町六ノ二三
- 二 役員
團長 洲濱文太郎
副團長 笠原石之助
理事評議員 二 計九名
- 三 團員 隊長 四 副長 二 理事評議員 二 計九名

隊別	隊數	班數	見習健兒數	
			二級	一級
幼年隊	五		一六	
計			一六	
前年度ヨリ増減	增	增	增	增
	三	五	三	四

四 指導用具 野營用具有

經費 昭和六年度豫算

收入	支出
----	----

金額 二四〇〇	團員 醜金	金額 二〇〇〇	備品	金額 八〇〇	訓練費
---------	-------	---------	----	--------	-----

六 指導概況

- 定期訓練 週一回水曜又日曜
- 練合訓練(市) 月一回
- 夏季訓練(市) 夏季休暇中 五日一四日
- 神社奉仕 隨時
- 週末野營 學期一回
- 沿革大要

七

昭和五年四月三日 臺中少年團トシテ結盟式舉行

三〇八〇	計	五〇〇	雜
二四〇〇		一三〇〇	其
二四〇〇	計		他費

- 一 團名 中公少年團
昭和六年七月一日 第三期健兒入團
- 二 役員
團長 杉本主二
副團長 一
隊長 三 理事 四 計八名
- 三 團員
昭和六年七月一日 第二期健兒入團式舉行
同 六年二月十一日 第二期健兒入團式舉行
同 六年四月二十九日 新富少年團トシテ結盟式舉行
臺中市聯合少年團トシテ結盟式舉行

- 一 團名 中公少年團
所在地 臺中市村上町四丁目一番地
- 二 役員
團長 杉本主二
副團長 一
隊長 三 理事 四 計八名
- 三 團員

五 指導用具 野營用具有

經費 昭和六年度豫算

隊別	隊數	班數	見習健兒數	
			二級	一級
幼年隊	一		三	
計			三	
前年度ヨリ増減	增	增	增	增
	一	一	三	三

收入	支出
----	----

金額	三三〇	金額	三〇〇
摘要	團員離金	摘要	備品
金額	七〇〇	金額	二七〇
摘要	訓練	摘要	雜費
金額	二七〇	金額	二七〇
摘要	計	摘要	計

六 指導概況

一、自昭和五年九月臺中少年團旭隊トシテ、毎週月曜一回ノ訓練及隔週土曜一回合同至同六年三月訓練ヲナス
 二、自昭和六年七月二十七日至同年七月三十一日四泊五日間臺中市聯合少年團長期野營ニ參加シ東勢郡新社庄水底寮ニ於テ野營訓練ヲナス

七 沿革大要

一、昭和四年十二月以來臺中少年團旭隊トシテ訓練ス
 二、昭和六年四月二十九日中公少年團設立成リ直チニ少年團日本聯盟ニ加盟手續ヲナス
 三、昭和六年六月三十日付ヲ以テ加盟登録ヲ了ス登録番號九六九號

一 團名 曙少年團

所在地 曙公學校内

二 役員

團長 田村 勉
 副團長 一
 理事評議員 一
 計 五
 隊長 三

三 團員

隊別	幼年隊	計	二	二	二	二
	見習	健	二	二	二	二
級	二級	一級	三	三	三	三
	見習	健	三	三	三	三
數	班數	見習	二	二	二	二
數	班數	健	二	二	二	二
數	班數	兒	二	二	二	二
數	班數	計	二	二	二	二

四 指導用具 野營用具有

收入	支出
----	----

五 經費 昭和六年度豫算

金額	六三〇	金額	一五〇〇
摘要	團員離金	摘要	備品
金額	七五〇	金額	四七〇
摘要	補助金	摘要	訓練
金額	三〇〇	金額	三〇〇
摘要	雜費	摘要	訓練
金額	六七〇	金額	六七〇
摘要	計	摘要	計

六 指導概況

昭和五年度 毎週土曜 定期訓練 半野營一回 一夜野營一回
 昭和六年度 隔週土曜 定期訓練 每月第二土曜 合同訓練 一夜野營一回 長期野營一回

昭和中州豐原少年團
 昭和中州豐原街豐原尋常高等小學校
 昭和中州豐原少年團
 昭和中州豐原街豐原尋常高等小學校
 昭和中州豐原少年團
 昭和中州豐原街豐原尋常高等小學校
 昭和中州豐原少年團
 昭和中州豐原街豐原尋常高等小學校

一 團名 臺中州豐原少年團
 所在地 臺中州豐原街豐原尋常高等小學校内

二 役員

團長 岩崎 偉一
 副團長 坂田 武俊
 其他 隊付 一
 計 四名

三 團員

隊別	少年隊	計	一	一	一	一
級	二級	一級	二	二	二	二
	見習	健	二	二	二	二
數	班數	見習	二	二	二	二
數	班數	健	二	二	二	二
數	班數	兒	二	二	二	二
數	班數	計	二	二	二	二

五 經費 昭和六年度豫算

收入	支出
金額	金額
一〇〇〇	一〇〇〇
團員離金	團員離金
金額	金額
八〇〇	八〇〇
訓練費	訓練費
金額	金額
二〇〇	二〇〇
備品費	備品費
金額	金額
一〇〇	一〇〇
雜費	雜費
金額	金額
一〇〇	一〇〇
計	計
一〇〇	一〇〇

150.00	計
10.00	雜
150.00	計
	費

六 指導概況

- 一、昭和五年九月十月兩月每週土曜日訓練實施(訓練時間約二時間)以後昭和六年三月末マテ休止
- 二、同 六年四月同七月十日マテ每週土曜日約二時間宛訓練實施

- 一、同 六年七月四日校庭一夜キャンプ實施
- 一、同 六年七月二十四日ヨリ同二十七日マテ三泊四日間東勢郡明治温泉ニ於テ固定野營實施

七 沿革大要

- 一、昭和三年五月十九日 少年團設立ノ可否ヲ保護者會評議員會ニカケ設立ニ決定ス
- 一、同 三年六月七月中 設立後援會ヲ組織シ基金募集ニ着手
- 一、同 三年八月 準備訓練六回實施
- 一、同 三年九月九日 結團式及披露式舉行
- 一、同 三年十一月六日 少年團日本聯盟ニ加盟

- 一 團名 月眉少年團
- 所在地 月眉尋常小學校
- 二 役員 團長 桑畑政義
- 隊長 一 其他 八 計 一〇
- 三 團員

隊別	隊數	班數	見習	健	二級	一級	兒	級	數
少年	一	一	二	三	三	三	三	三	三
計	一	一	二	三	三	三	三	三	三
前年度ヨリ増減			減	三	三	三	三	三	三

五 指導用具 野營用具有

收入	支出
----	----

金額	摘要	金額	摘要
200.00	其ノ他	200.00	備品
200.00	庄	200.00	訓練
700.00	計	700.00	費

六 指導概況

昭和六年度少年健兒指導案(提出済)ニ依リ毎月第一、二、三土曜放課後訓練ヲナス、内増庄内少年團合同夜營一回(尙第二學期中一回野營實施ノ豫定)

七 沿革大要

- 一 團名 コロトン少年團、青年部、少年部
- 所在地 豊原郡豊原公學校
- 二 役員 團長 星萬壽雄
- 副團長 木佐貫淳
- 隊長 二 副長 二 計 五名
- 三 團員

始シ同年八月一日月眉神社前ニテ結團式ヲ舉ゲ八月二十六日發團式ヲ舉行シ十月二十五日少年團日本聯盟ニ加盟セリ
昭和六年度ヨリ保護者會ニヨリ二十圓支出

隊別	隊數	班數	見習	健	二級	一級	兒	級	數
少年	一	一	二	三	三	三	三	三	三
青年	一	一	二	三	三	三	三	三	三
計	二	二	四	六	六	六	六	六	六
前年度ヨリ増減		増	増	増	増	増	増	増	増

五 指導用具 野營用具有

收入	支出
----	----

金額	摘要	金額	摘要
一四〇〇	團員離金	八〇〇	備品費
一五〇〇	補助金	七六〇	訓練費
一七五〇	計	一四五〇	雜費
		一七五〇	計

六 指導概況

集合 一週一回火曜日 年後三時ヨリ(但シ夏休暇前後四週間中一時半ヨリ)
 長期野營 一 新竹州通霄海岸 七月十三日―七月十四日マデ 十五名
 見學旅行 一 臺中へ 八月十四日 十七名
 野營 數回
 ハイキング 數回
 沿革大要

本島ニ於ケル公學校卒業生指導ニ關シテ職ヲ公學校長ニ奉ズル誰モガ常ニ考慮サレ儘マサレツムアル事ガアル昭和四年度豊原郡下小公學校長會議ニ於テ卒業生指導及青年團設立ニ關スル議起ツタ際公學校卒業生ヲ善導シ堅實ナル青年團ヲ設立スルニハ公學校在學中ヨリ其ノ基礎訓練ナス必要アリ故ニ堅實ナル健兒團ヨリ初メテ立派ナル青年健兒ヲ養成シ之ヲ中心トシテ青年團ヲ組織シ以テ公學校ノ卒業生及一般青年ヲ善導スルニ如カズト議纏リ以上ノ趣旨ノ下ニ當コトトシテ少年團生ヲ出タルモノナリ

- 一 團名 内埔少年團
所在地 臺中州豊原郡内埔庄屯子脚四
- 二 役員
團長 今仁義 記
副團長 一 隊長 一 副長 一 理事 一 其他 二 計 六名
- 三 團員

隊別	隊數	班數	見習	健	二級	一級	兒	級	數
少年隊	計	一	一	二	二	一	一	一	二
前年度ヨリ増減									

四 指導用具 野營用具
五 經費 昭和六年度豫算

金額	摘要	金額	摘要
七五〇〇	補助金	三〇〇〇	備品費
		二五〇〇	訓練費
		二〇〇〇	雜費
七五〇〇	計	七五〇〇	計

七 沿革大要

準備訓練開始 昭和四年五月二十七日
 結團式 昭和五年二月十一日
 聯盟加盟 昭和六年二月第九四六號
 備考
 團員離金ハシテ居リマセン
 クラブ・ハウスヲ設立シマシタ

- 一 團名 眉山少年團
所在地 豊原郡内埔庄月眉
- 二 役員
團長 川船義男
副團長 張振輝
隊長 一 理事 一 計 三名
- 三 團員

六 指導概況

一、毎週土曜午後約一時間半ノ訓練實施
 二、野營(短期)ハ隔月一回
 三、ハイキング 隔月二回
 四、夜間ノ指導(班長指導)

隊別	隊數	班數	見習	健	二級	一級	兒	級	數
少年隊	計	一	一	二	二	一	一	一	二
前年度ヨリ増減									

四 指導用具 野營用具有
五 經費 昭和六年度豫算

收入		支出	
金額	摘要	金額	摘要
6,000	補助金	4,000	備品費
計		2,000	訓練費
		6,000	計

六 指導概況

毎週土曜日午後一時ヨリ約二時間ノ豫定テ訓練シマス詳細ハ計劃書ニアリマス

七 沿革大要

昭和五年一月二十七日月眉公學校ニ於テ眉山少年團ノ結團式ヲ舉行
昭和五年、六年度ハサキニ報告セシ年度計劃書ニ從ヒ訓練シ今日ニ至ル團員ノ服裝完全ニト、ノヒマシタ

一 團名 神岡少年團
所在地 神岡公學後

二 役員

團長 長嶺朝良
副團長 大毛尙敏
隊長 一副長 一其他 一計 四

三 團員

隊別	隊數	班數	見習		健兒	級	數
			健	兒			
少年隊	一	一	三	三	二	一	三
前年度ヨリ増減		減	一	三	四		減 三

四 指導用具 野營用具トシテ飯盒、リツクサツクヲ有ス、天幕ハ有セズ
五 經費 ナシ

六 指導概況

二級健兒ヘノ過程作業ヲ毎週土曜ニ課ス
休暇、土曜、日曜ヲ利用シテ野外訓練ヲナス

七、沿革大要

本少年團ハ御大典記念事業トシテ昭和三年五月二十二日發團式舉行
昭和四年度ニ僅カ金二十圓ノ經費ヲ貰ヒ之レニテ右ノ備品ヲ購入ス
以後全ク無經費ニテ作業及訓練ヲ爲ス
本少年團ハムシロ精神訓練ニ重キヲ置ク

一 團名 大雅少年團
所在地 豊原郡大雅公學校

二 役員

團長 椎田留次
副團長 中山常雄
隊長 一副長 一理事 一其他 一計 五名

三 團員

隊別	隊數	班數	見習		健兒	級	數
			健	兒			
少年隊	一	一	三	三	二	一	三
計		二	二	三	五	五	八

四 指導用具 野營用具有
五 經費 昭和五年度決算

收入		支出	
金額	摘要	金額	摘要
860	團員離金	873	備品費
260	補助金	588	訓練費

六 指導概況

九月 五回—結團式
十月 二回—内臺中市見學一
十一月 三回
十二月 二回

500	寄附金	800	雜費
260	計	260	計

一月 四回
 二月 四回—建國祭當日二軒ノ間ニ(道路上)百米宛ノ距離標木ヲ建ッ
 三月 二回—進級式送別野營
 四月 一回—指導者及健兒幹部會開會
 五月 四回—細野主事、川島視學視察
 六月 三回
 七月 長期野營 七月二十五日—二十八日迄、大甲水源地
 健兒十三名、指導者 三名參加
 團備考 野營訓練ハ一回ニ計上ス
 沿革大要 昭和三年五月十八日大雅少年修養團トシテ生レ同年十二月

御大典記念トシテ二班編成トナシ少年團ノ形式ヲ整ヘ爾來訓練ヲ續ケ昭和五年九月二十八日結團式ヲ舉行シ同年十一月六日附第九一九號ヲ以テ少年團日本聯盟ニ加盟登錄サル
 備考
 二級健兒五名中四名ハ卒業シ自宅及商店ニ雇ハレ居ル狀況ニテ長期野營又ハ平素ノ訓練等ニ參加不可能ノ場合多シ
 一 團名 東勢少年團
 所在地 東勢小學校
 二 役員 團長 萩原耕夫
 隊長 二 計 二名
 三 團員

隊別	隊數	班數	見習	健兒	計
少年隊	一	二	七	七	一七
前年度ヨリ増減			減	增	六
收入					
支出					

四 指導用具 野營用具有
 五 經費 昭和六年度豫算

金額	摘要	金額	摘要
二五〇	團員離金	六〇〇	備品費
八〇〇	補助金	三〇〇	訓練費
三〇〇	寄附金	三〇〇	雜費
三三〇	計	三三〇	計

六 指導概況

月二回指導訓練實施
 年四回野營訓練實施豫定
 時ニ奉仕作業、交通援助等
 沿革大要

準備訓練開始 昭和四年九月十五日
 結團式昭和五年三月十日
 八 後援會
 特ニ後援會ト稱スルモノナケレド父兄會ニ於テ年々後援シツ、アリ
 一 團名 大甲少年團
 所在地 大甲郡大甲街大甲一〇二
 二 役員 團長 小倉清秋
 隊長 一 理事評議員 一三 計 一四名
 三 團員

隊別	隊數	班數	見習	健兒	計
少年隊	一	二	三	三	六
金額 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>					
摘要 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>					

四 指導用具 野營用具有
 五 經費 昭和六年度豫算

收入	支出

金額	摘要	金額	摘要
100.00	大甲街役場ヨリ補助	41.00	天幕一、シート

100.00	計	100.00	計
		二五五	健兒用リユクサ
		七五	飯盒五ヶ
		一六二九	炊事道具及ビ野
		一五六七	營入費
			殘金
100.00	計		

六 指導概況

本年度指導概況

- 1 本年度一學期始メヨリ結團式準備ノ爲メ殆ソド連日野營演習ノ指導ヲナス
 - 2 夏季休業中毎週土曜日ヲ指導日ト定メテ指導セリ
 - 3 野營演習トシテ鐵砧山ト月眉ニ行ク
- 九月中ニ清水、沙鹿、大甲ノ小學校聯合ノ合同キャンプヲ大甲水源地ニ於テ行フ豫定ナリ

七 沿革大要

- 一、郡ノ趣旨ニ依リ昭和五年度ノ學校豫算ニ少年團費補助トシテ金五十圓ヲ計上シ同年四月ヨリ直チニ希望者ヲ集メテ準備訓練ヲ開始セリ
- 二、昭和六年度ニハ金百圓ノ補助ヲ受ケ團用備品ヲ整ヘ專ラ準備訓練ニ力ヲ注ギ漸ク六月二十八日結團式ヲ舉グル事ヲ得タリ

八 備考

一、準備訓練ニ相當永キ日數ヲ要シタルハ指導者ノ手不足用具ノ不完備等ニ起因スル所多シ

一團名 清水少年團

所在地 臺中州大甲郡清水尋常高等小學校

二 役員

團長 石尾善造
副團長 正木茂

隊長 一副長 一理事評議員五 其他三 計一〇名

三團員

少年隊	隊別	隊數	班數	見習		健兒	級	數
				二級	一級			
計		一	二	二	六	六		一六

四 指導用具 野營用具有經費 昭和六年度豫算

收入		支出	
金額	摘要	金額	摘要
八〇〇〇	補助金	四〇〇〇	備品費
		三〇〇〇	訓練費
		五〇〇	雜費
		三〇〇	其他費
八〇〇〇	計	八〇〇〇	計

六 指導概況

- 1 毎週土曜日午後指導
- 2 結案法、集合、おきて、唱歌、遊戲等少年團トシテノ作業ヲ指導訓練ス

七 沿革大要

幼年隊	隊別	隊數	班數	見習		健兒	級	數
				二級	一級			
計		二	二	四	二	二		二四

二 役員

團長 中村良之助
副團長 中東壽一

隊長 二評議員 十二 其他 二 計 一七名

三 團員

一團名 沙鹿少年團

所在地 大甲郡沙鹿小學校

- 昭和五年一月二十五日 野營準備訓練ヲナス
- 同 五年五月十五日 細野少年團指導員來團
- 同 五年五月二十三日 少年團員班別ス
- 同 五年七月二十四日 正木隊長少年團指導者講習會出席
- 同 六年五月二十二日 水源地ニ於テ飯盒炊事ヲナス
- 同 六年五月二十三日 水源地ニ於テ野營ス
- 同 六年七月一日 本少年團結團式ヲ舉行ス
- 同 六年七月十五日 飯盒炊事ヲナス
- 同 六年八月十五日 日間大安港ニ於テ野營ヲナス

四 指導用具 野營用具有
五 經費 昭和五年度決算

収入		支出	
金額	摘要	金額	摘要
100.00	補助金	400.00	備品費
計		100.00	訓練費
		500.00	雑費
		100.00	計

六 指導概況

毎週水、土、訓練日トシテ二時間ノ豫定ニテ訓練(五年度) 半日ハイキング二回、一夜キャンプ二回、校庭連続キャン

隊別	隊數	班數	見習	健	兒	數
少年	一	二	二	二	一	一
計	一	二	二	二	一	一

四 指導用具 野營用具有
五 經費 昭和六年度豫算

収入	支出
----	----

フ四日間一回
露峯庄山地キャンプ三日間(昭和六年七月十三日ヨリ十五日マデ)

大安港陸海キャンプ三日(昭和六年八月八日ヨリ十日マデ)
沿革大要
昭和五年四月準備訓練開始
同 六年六月十七日結團式

一 團名 大甲第一少年團
所在地 大甲郡大甲街大甲三八九大甲公學校
二 役員
團長 富田 豊
副團長一 隊長一 副長一 理事一四 其他二 計一九名
三 團員

六 指導概況

金額	摘要	金額	摘要
600.00	大甲街費補助	400.00	天幕シート二
200.00	團員離金	150.00	飯盒
700.00	計	100.00	炊事用具
		600.00	雑費
		700.00	計

七 沿革大要

昭和五年度中ニ設立ノ計畫ヲ起シ本年度豫算ニ補助金六十圓ヲ計上シ年度初ヨリ直ニ設備、團員等諸般ノ準備ヲ整ヘ本年八月一日ヨリ實施指導ヲ行ヒ九月一日成立九月十二日結團式ヲ舉行ス

八 備考
一、來年度ハ二隊四班ニナス豫定ナリ

一 團名 秀水少年團
所在地 秀水公學校

二 役員
團長 福原兼松
隊長 一副長 一 理事評議員 六 計 八名
三 團員

隊別	隊數	班數	見習	健	兒	數
少年	一	二	二	二	一	一
計	一	二	二	二	一	一

四 指導用具 野營用具有
五 經費 昭和六年度豫算

収入	支出
----	----

金額	摘要	金額	摘要
500.00	補助金	400.00	備品費

七〇〇	寄附金	二〇〇〇	訓練費
六〇〇	計	二〇〇	雜費
六〇〇	計	六〇〇	計

六 指導概況

- 1 九月ヨリ十二月迄見習健兒訓練
- 2 一月ヨリ三月迄少年健兒訓練
- 3 四月ヨリ八月迄見習、少年兩健兒訓練
九月ヨリ三月マテ(昭和五年度)
訓練 二五回 野營 四回
四月ヨリ八月迄(六年度)
訓練 一〇回 野營 三回

七 沿革大要

- 1 昭和五年四月二十五日希望者集會本團ノ主義精神及教育行事作業等ニ付相談會ヲナス
- 2 昭和五年五月十日細野少年團主事來團講演ニヨリ志望團員十名募集

隊別	隊數	班數	見習	健兒	數
少年隊	一	一	二	一	三
幼年隊	一	一	二	一	三
計	二	二	四	二	六
前年度ヨリ増減			減	減	減

八 備考

- 1 青年健兒結團
 - 2 少年團文庫ノ設置
 - 3 團ノ擴張
 - 4 野營用具ノ補充
 - 5 後援會設置
 - 6 基金増設
- 二、健兒ハ野營ノ都度一日二十錢ヲ融出ス

一 團名 鹿港少年團

所在地 臺中州彰化郡鹿港第一公學校内

二 役員

團長 森本 茂

三 團員

副團長 二 隊長 二 副隊長 二 理事 三八 其他 三 計 四七

幼年隊	一	一	二	一	三
少年隊	一	一	二	一	三
計	二	二	四	二	六
前年度ヨリ増減			減	減	減

四 指導用具 野營用具有

五 經費 昭和六年度豫算

收入		支出	
金額	摘要	金額	摘要
三〇〇〇	團員離金	二〇〇〇	備品費
一五〇〇	補助金	一〇〇〇	訓練費
五〇〇〇	寄附金	二〇〇	雜費
一〇〇〇	計	三〇〇〇	其他
三〇〇〇	計	三〇〇〇	計

六 指導概況

- 定例訓練 每週一回
一夜野營 五回
ハイキング 四回

七 沿革大要

夏朝野營 三度四日
準備訓練開始 昭和五年一月七日
結團式 昭和五年六月一七日
聯盟加盟 昭和五年九月三十日第九〇五號
昭和五年十一月三十日佐野聯盟理事來團視察、昭和六年二月十四日團旗樹立

八 備考

經費中寄附金ハ設立當時寄附金ノ殘額ナリ 新寄附金ナシ

一 團名 北斗少年團

所在地 臺中州北斗郡北斗街西北北斗尋常高等小學校内

二 役員

團長 本島 信重

三 團員

隊長 二 計 二名

少年隊	隊別	隊數	班數	見習	健兒			數計
					二級	一級		
計					二	二		二
					二	二		二

四 指導用具 野營用具有
五 經費 昭和六年度豫算

收入		支出	
金額	摘要	金額	摘要
五三〇	團員酬金	三〇〇	備品費
四〇〇	寄附金	八三〇	訓練費
三六〇	計	三六〇	計

六 指導概況

毎週土曜日放課後二時間ヲ訓練日トシ訓練ス

集會數十五日

野營 昭和五年十月中員林郡田中水源地ニ於テ二日

北斗郡田尾庄ニ於テ二日

昭和六年二月中 校庭ニ於テ二日

同年七月下旬ヨリ八月上旬ニカケ北斗郡沙山庄

沙山ニ於テ臨海學園ヲ兼テ五日間

七 沿革大要

昭和三年九月一日創設準備開始 昭和四年四月一日實施期ニ入ル

昭和六年三月十一日北斗少年團トシテ結團式ヲ舉ゲ

昭和六年六月三十日少年團日本聯盟ニ加盟ス

昭和七年五月二十八日印刷
昭和七年五月三十一日發行

臺中州教育課

臺中市綠川町二丁目九番地

印刷人 高須佐助

臺中市綠川町二丁目九番地

印刷所 高須印刷所

電話二七六番

30H24

臺中縣政府

中華民國二十六年

財政部

稅務司

中華民國二十六年

八月

二十

